

030
1986

目次

卷之六 人事之部

士農工賈衆伎百戲類

卷之七 器用之部

祭器樂器圭璋斗斛類

卷之八 器用之部

舟車兵刃網罟筆研類

唐土訓蒙圖彙

自六至八

法 總 射 歩



人事

此部ハ武藝ノ下ニ農家の樂ヲ
傀儡劇草白戯ノあつひまでふく
のそて乃るふとな

唐土訓家圖彙卷之六

名の下に
和名と附

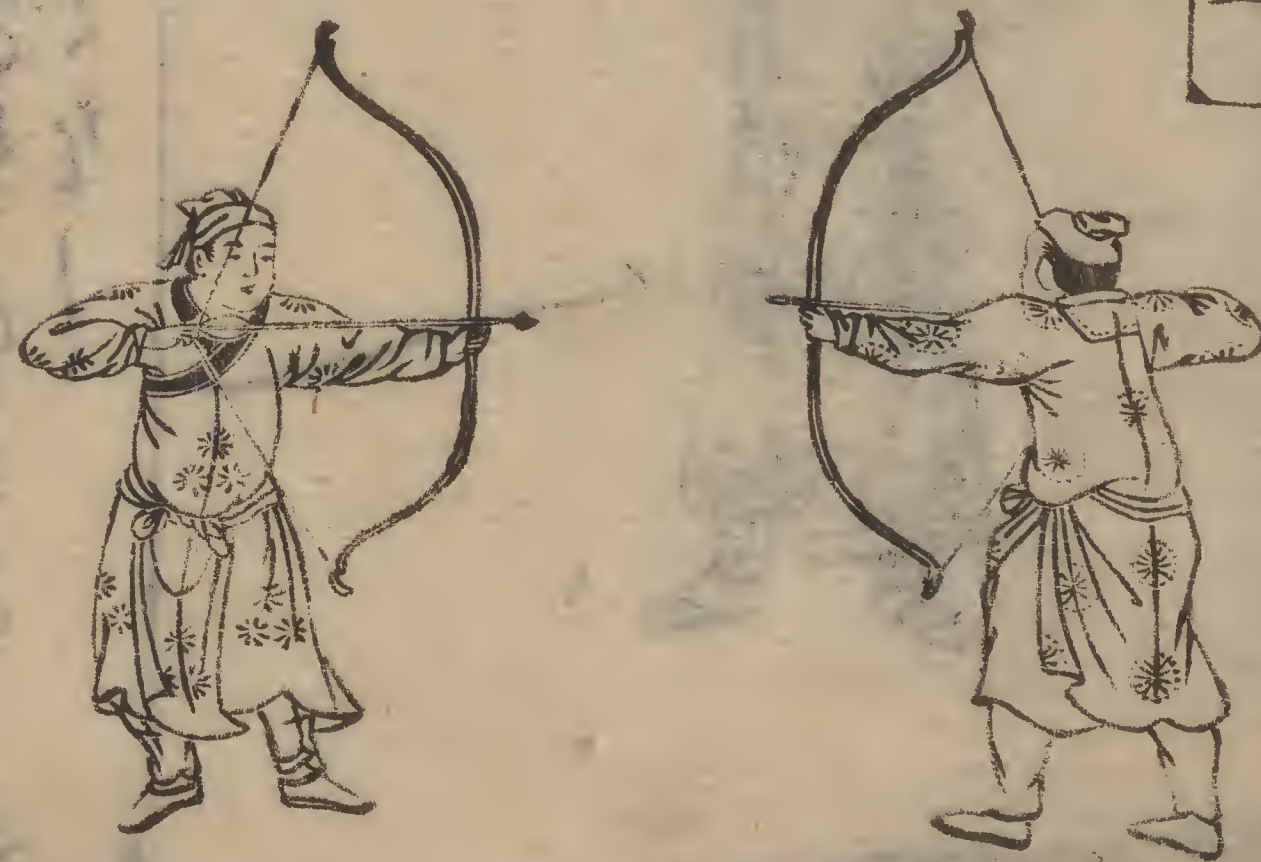
射法圖

圖 實握 射



同上

圖 掌心推 射



此法ハ弓と一いふ引たるた乃
 腕と直りて弦月のあつくふ
 うと力くめふせく月れくもの
 とく気の通うまひさるるに

此法ハ弓と引たるた乃
 心と對一肘の平なりと衡乃
 おとくにいてるハ八分の
 するなり

馬射圖

馬上にて射るなり



同上



馬坐則圖

上より下



拳法圖

和のしやうりやう
以下十六圖同



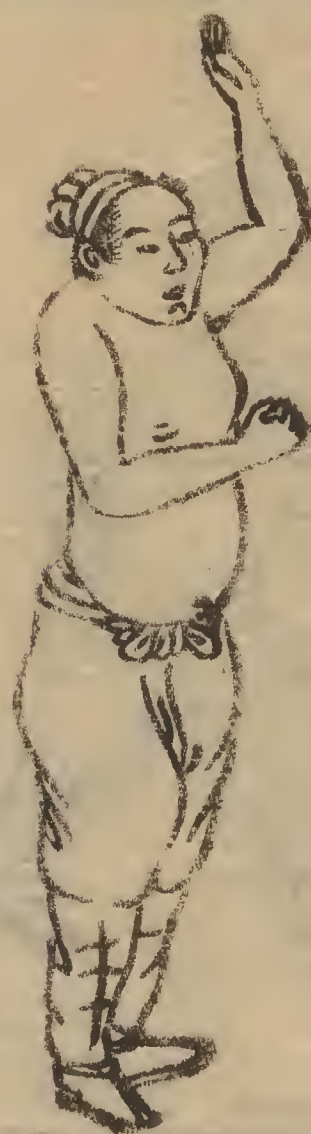
拳法



拳法



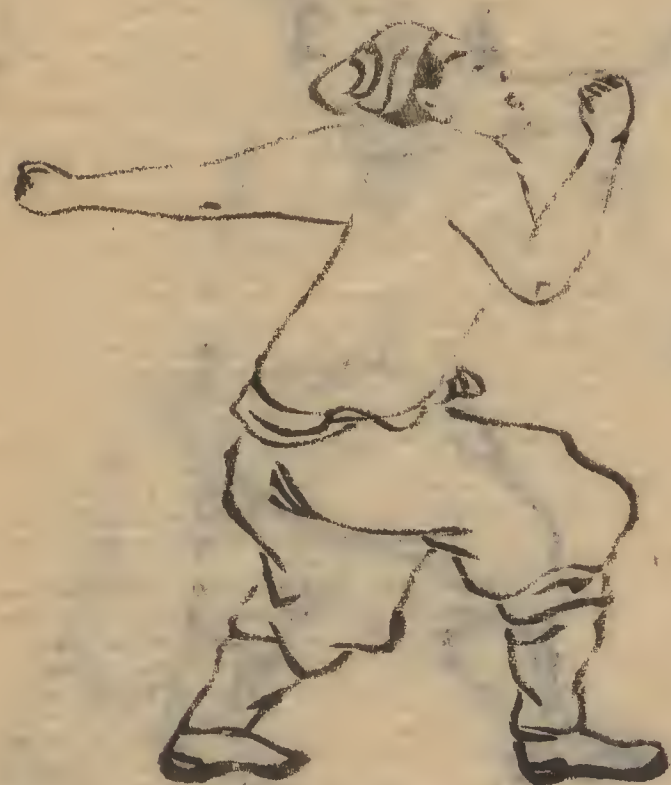
拳法四



拳法五



拳法六



拳法七



拳法八



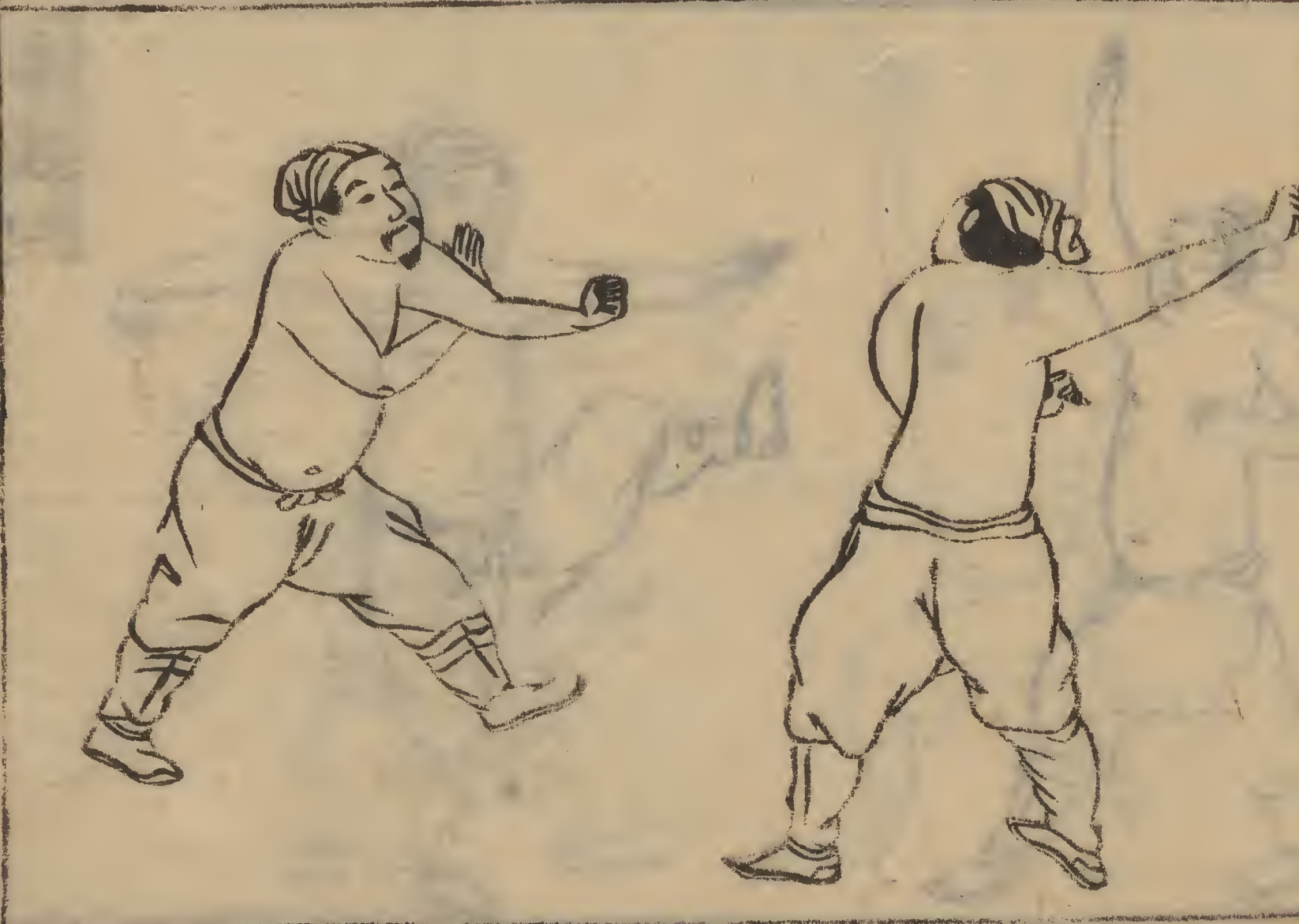
拳法九



拳法十



拳法十一



拳法二十



拳法三十



拳法四十



拳法五十



勢セ伏フ埋ミ面メ十ジ



勢セ服フ實シ夷イ四シ



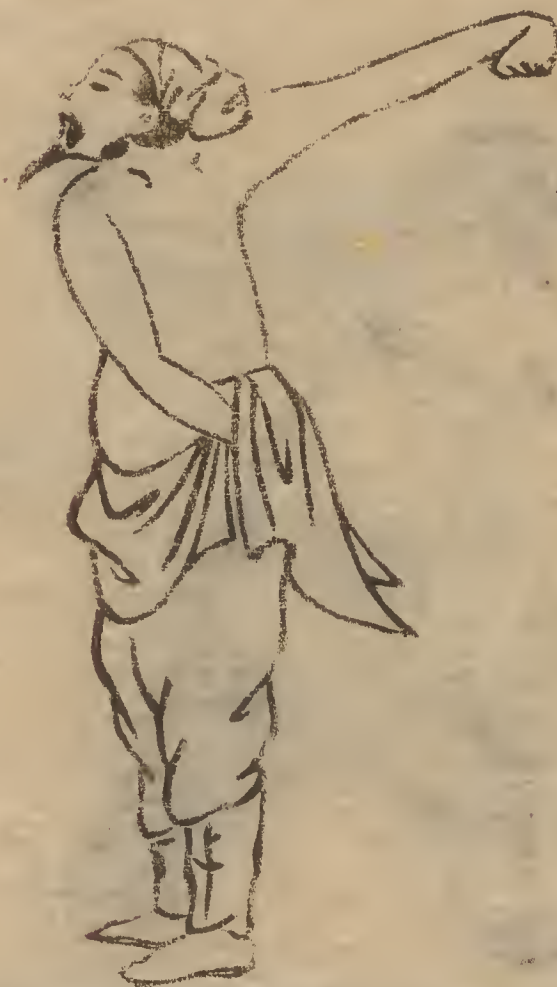
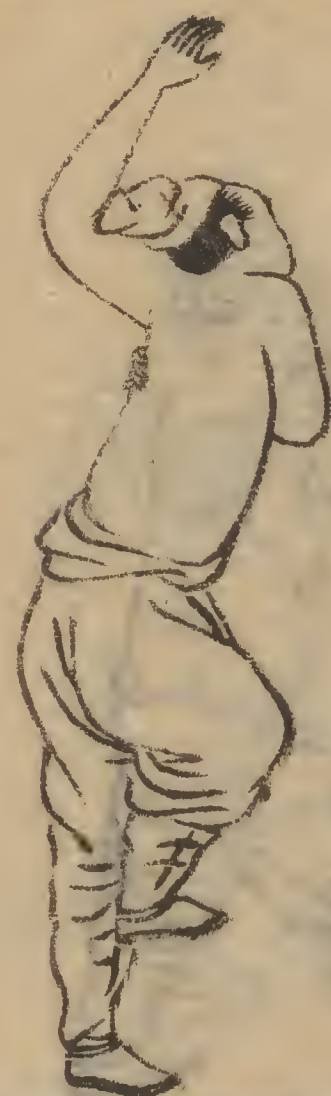
勢セ爪ツ獻ケン龍リウ青セイ



勢セ針シ南ナン指シ



拳ケン法ホウ六ロク



勢セ海カイ探タン入入夜ヤ



鎗カサ法ホウ圖ツ

和ワのノ後ノチとトるル人ヒトのノ人ヒト

勢 水 満



勢 天 朝



勢 龍 騎



勢 地 耕 牛 鐵



勢 劍 踏



勢 欄 邊



勢 錦 地 鋪



勢 竿 旗 鐵



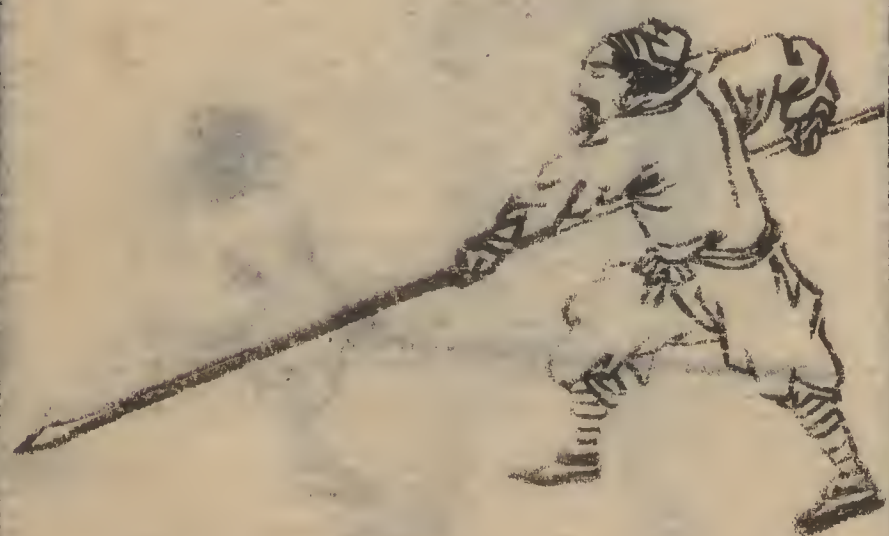
勢門鴻闖



勢針認人美



勢虎伏



勢尾擺龍蒼



勢鼠捉猫靈



勢刀拖猿白



勢卵壓山太



勢琶琵



勢 路 指 人 人 傾



勢 牌 滾



勢 衣 扎 開



勢 行 針



習 藤 牌 圖

解ハタテナリ 敵術の類ニ

勢 魚 釣 公 太



勢 海 塞 山 推



勢 鼓 鶴 撲 子 鷗



それ 鎧ハ中平の昔 義農 千
 戈と造り 軒轅 槍と作り 諸葛
 孔明 始て 木と以て 槍と云ふ 鉄
 を以て 頭ハ其長二丈 或竹と
 以て 作る 長二丈五尺 蓋日本
 の 鎧ハ相似たり 日本 鎧の字
 倭 国の 制する 處より 鎧と 術と
 同くするものなり

勢 平 中



習 狼 兎 圖

竹の枝のまねと疾ふてうり 漁の長うりて敵の兵を
ふせく 器なりそのうりの術なり

勢 龍 騎



勢 頭 畔 雞 金



勢 歩 躍



勢 伏 埋



勢 平 低



勢せ下した、開ひらく



勢せ退ひき、歩あ、拗よこす



勢せ開ひらく、釣つく



勢せ上あ、架かす



圖勢盤人棒僂



圖勢吊大



圖勢當大



圖勢當小



棍
法
圖

和
二
一
棒
と
つ
り
と
し

起馬同頭勢圖



面符送書勢圖



滴水勢圖



齊眉殺勢圖



圖フ勢の腰閃



圖フ勢の穿下



圖フ勢の頭倒



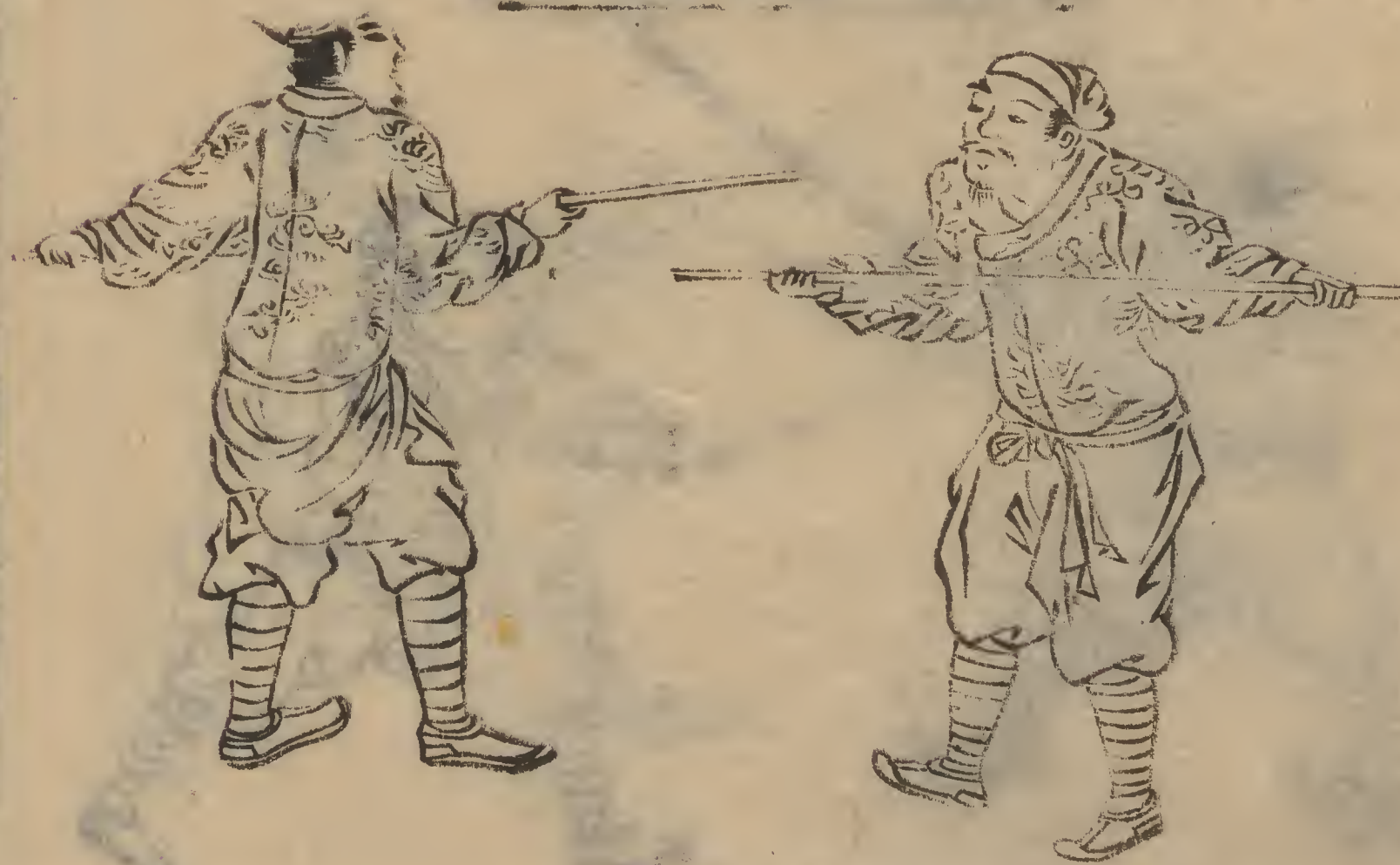
圖フ勢の刺上



下接勢圖



三日月の沖に杖一本

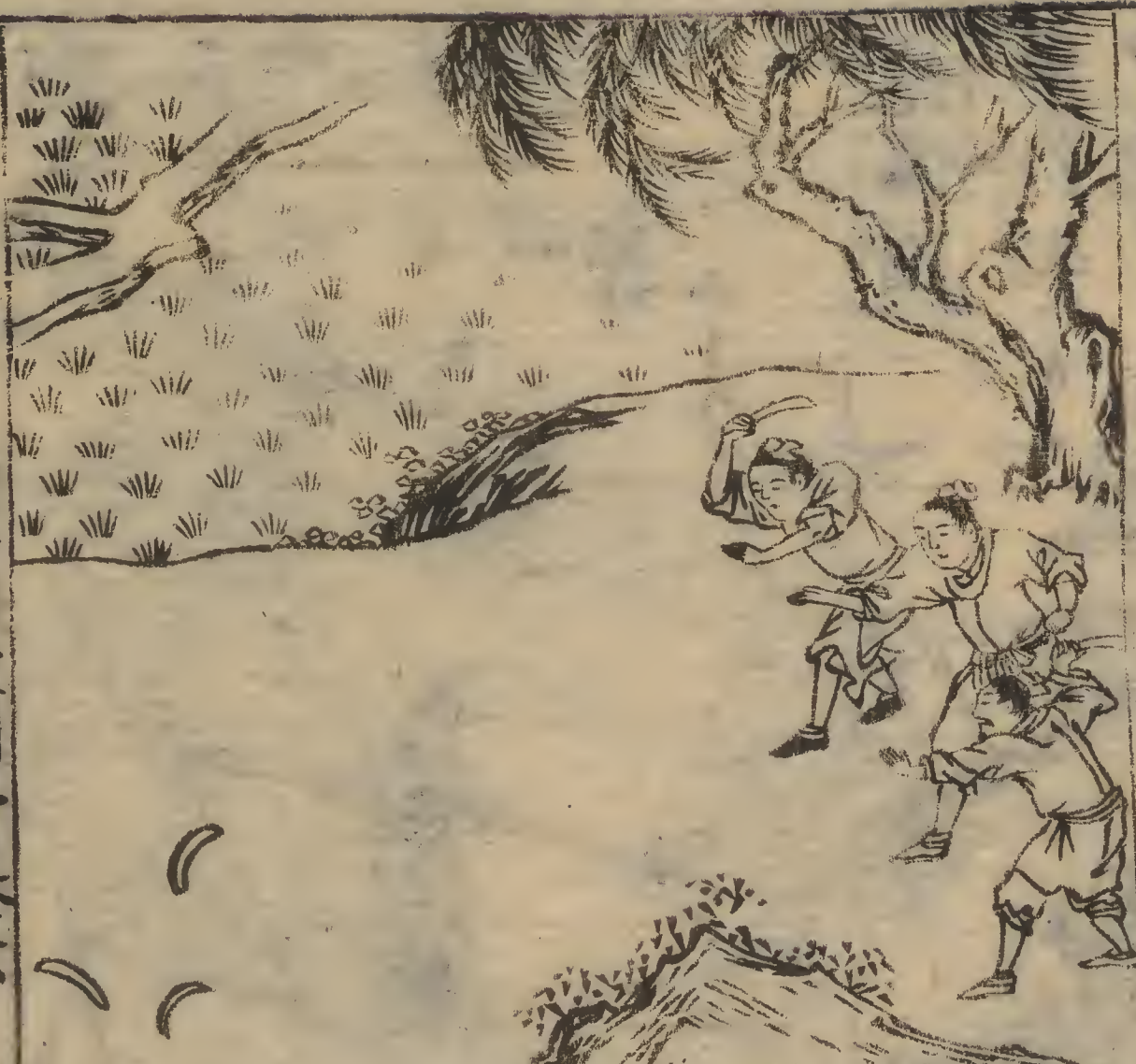


撃手壞圖

あれ村氏野老のたふし
その具ハ木とてけけ前廣く後
鋭長五尺八寸洞三寸其形履れ
如く歳せんとすり先一の壞と選の
三四十歩側て手中の壞とみ
うらなげてあう者と

塙鼓圖

塙とハ田の草とす
その時笑語り務と物ん
うらなうに鼓なり



高組圖

ふん和
うけれ
こりお
ねの
顔
なり

傀儡圖

ふん和
うけれ
こりお
ねの
顔
なり

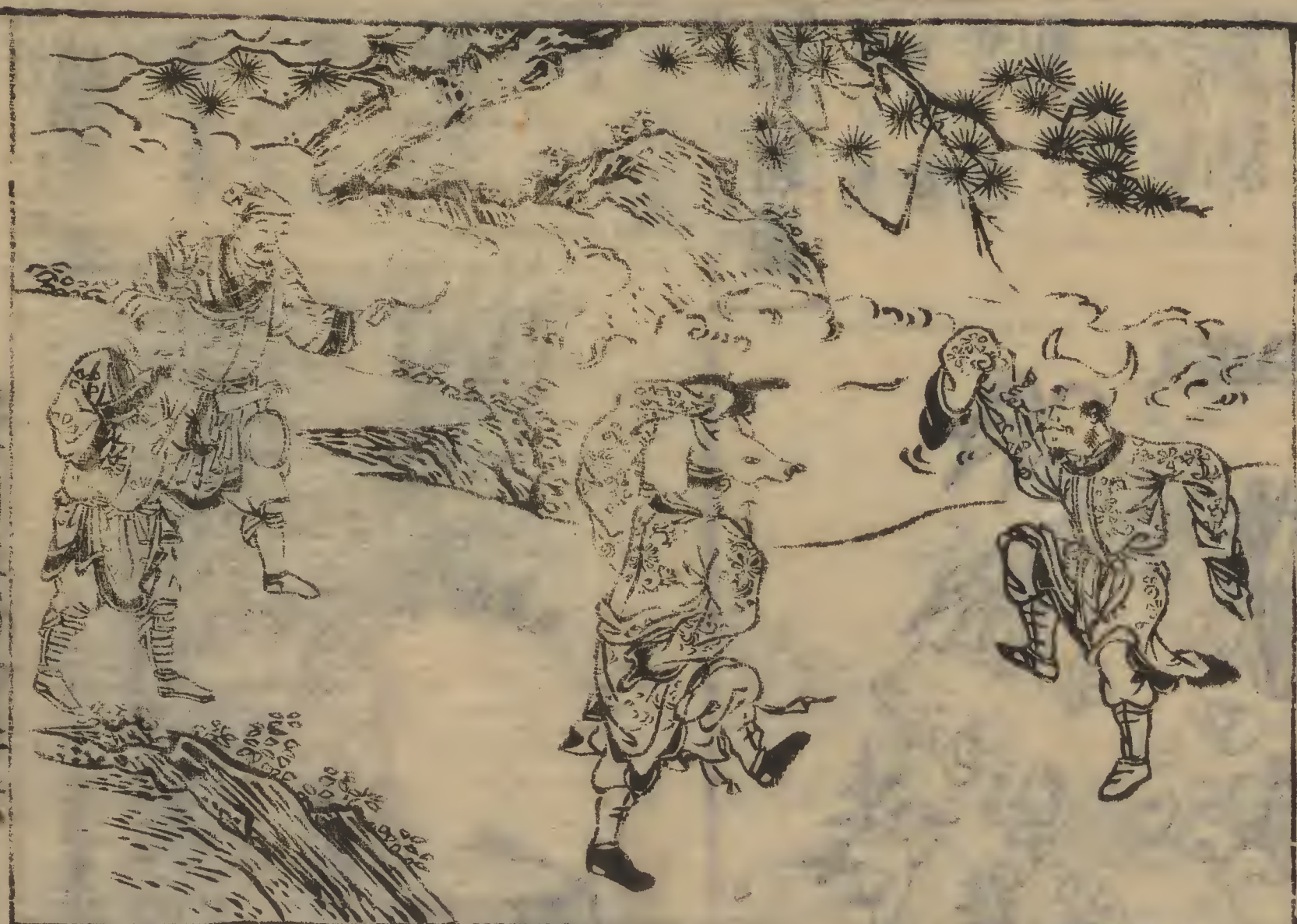


角抵圖

和角抵
すまの
勢を
てらふ

闘牛圖

うーと
てな
らつ
て合
せて
うた
ふ
ふ
なり



關草圖

百の草
とけ合
せて
周のそ
三月
明の
る

關雞圖

とけ合
せて
周のそ
三月
明の
る



彈圖

和
とけ合
せて
周のそ
三月
明の
る

蹴鞠圖

和
とけ合
せて
周のそ
三月
明の
る



香の図

今
く
ら
の
数

弄の図

今
れ
玉
の
歌



走火の図

緑の図

今
ま
の
歌



鞦韆圖

北方我狄寒食の節に至ていふつれと云ふ輕遊を好むは中ふこれよりかゝる儼をよにりていふのせと云ふ



唐土訓蒙圖彙卷之七

器用 之一

器用

此部は上右の器用は筆硯文房の遊びと云ふ農具共の器用は舟車

古器

上右林と酒とすり

雖

神とまつり酒と盛と云ふもの也



振 長四

人廣二尺四寸
深さ五寸 鑊を

陳ころのかり
その式ハ案の

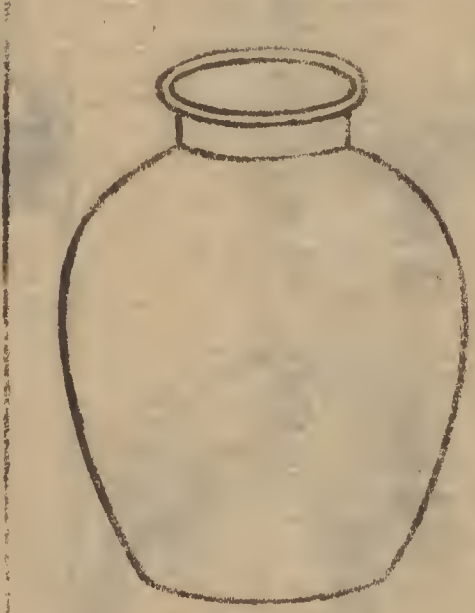
ふとくちり
鑑金 鑑鑑

と客ころの文高
一尺三寸と受

いゆものなり
銅 炎

一かき盛もの
こ三足ふく

西耳り



大壘 瓦と

もつくはくはく
敷し社土の神

とまつに用ひ
これと氣と尚

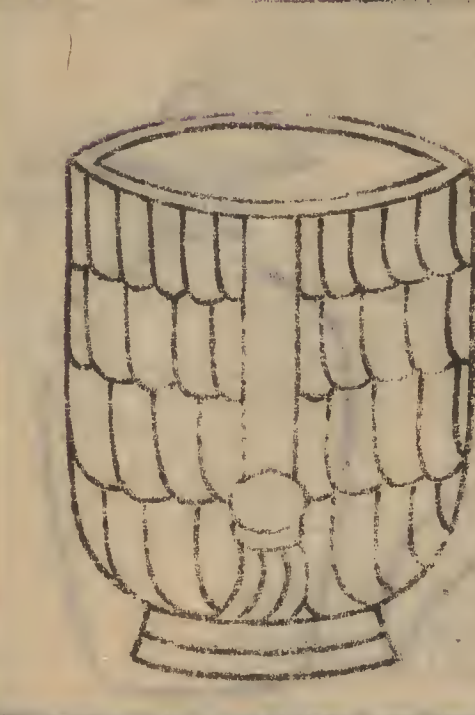
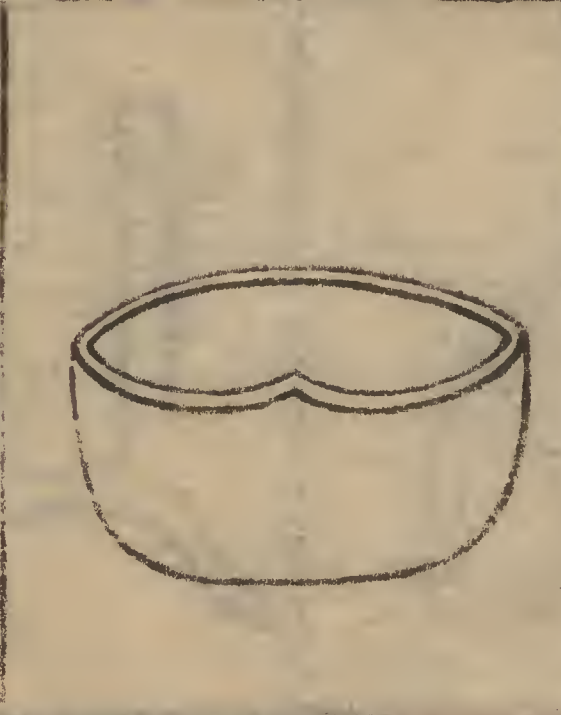
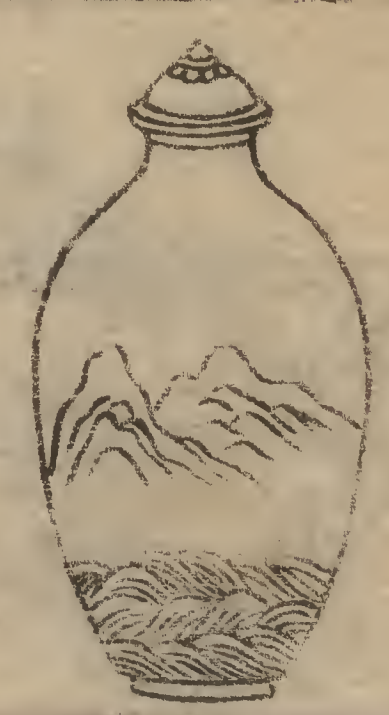
ゆへなり
瓢齋 門と

まつにこれを
用の耳瓶を

尊として門の
害と除なり

辰虫 山川
四方とまつに

もちの



備 兎

解と同一野牛
の角と以て作る

こつさすれ
四計 鹿角あり

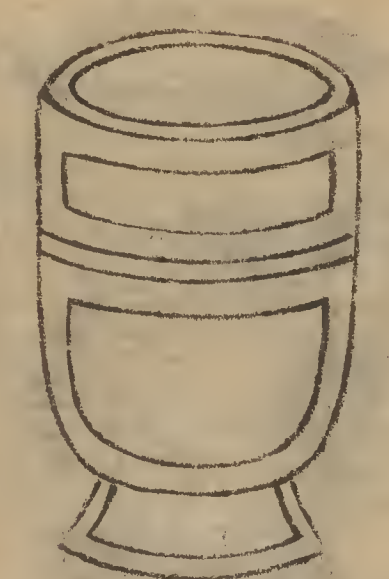
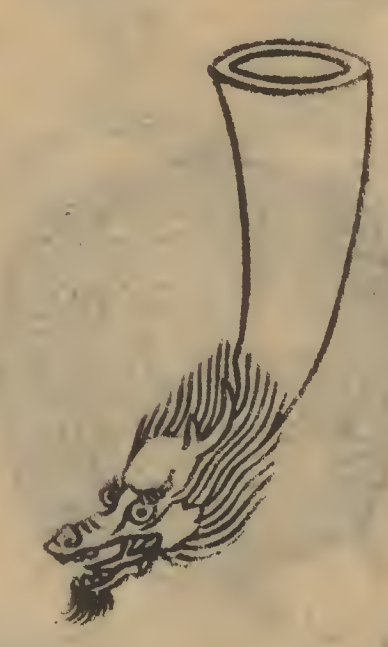
聞ハ野牛角アリ
青色重サナリ

補 四升

と豆とつよ四豆
と區とつよ四區

と補とつよ量の
異 六斗四升

概 黒
漆の尊と朱の
帯と腹とつよ



散 尊

の飾をさぬ
とりし

庾 二穀

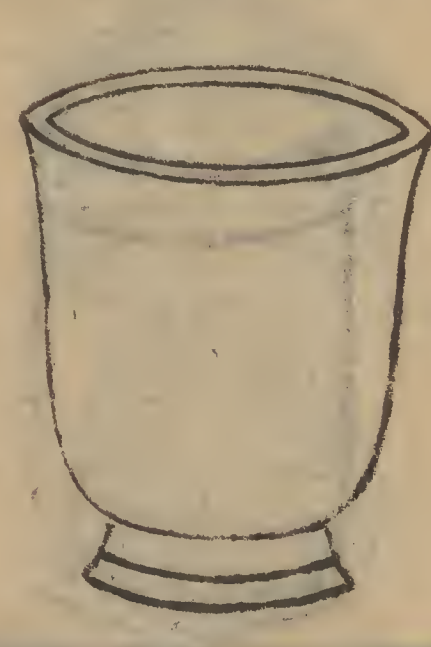
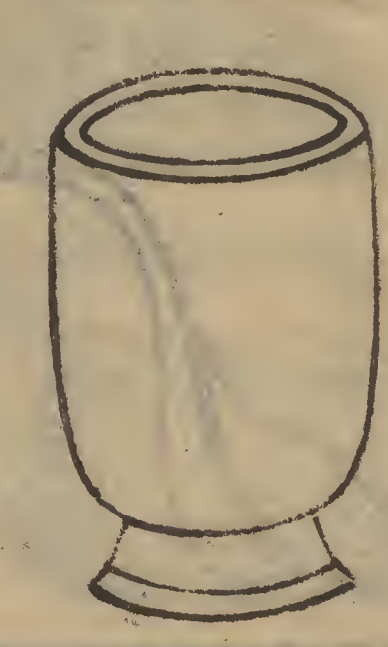
と實つこし
量つ器品甄と

以てこれとつ

鳥瘻 鳳

鳳と盡く祭祀
は御器と

堆ととさ雞と
点た虎ととさ
黄葵筆瘻と



のまじり中
 糸と飾り
 くに赤漆を
 用の流尊山
 尊壹尊大
 尊著尊を
 同く教なり
 蹴布巾 尊
 の幕は二反
 二寸天地と重
 つにこれと用
 畫布巾 五色
 の雲文と畫
 六雲の幕也
 二尺二寸の幅
 みて圓なり



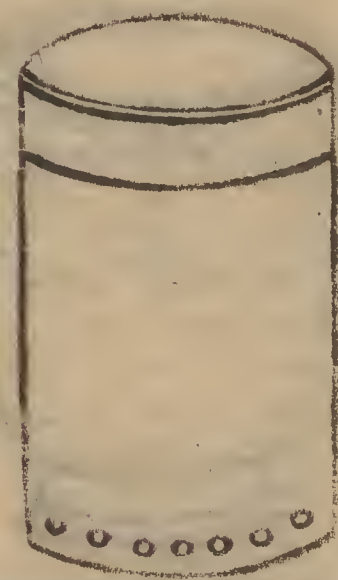
算
 十斗と斛と
 十六斛と算
 竹

甄
士と

厚^{あつ}く五^ご分^{ぶん}唇^{くち}
一寸^{いちゆん}七^{しち}穴^{けつ}と穿^{せん}
寸^{すん}

栖
木

以て凡々灸と
和す器長二尺
傳三寸
○和ニ云枚子ノ
類ナリ



鎚う金ま

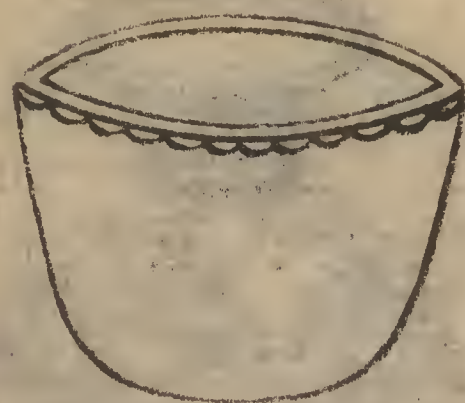
と同一用と
なれり
是かふと金
と

大

熨とすいひ
もろし徑一
尺八寸高
二尺四寸し

雙
肉

と煮ふ魚
臘ともの器
なり



籬い
竹

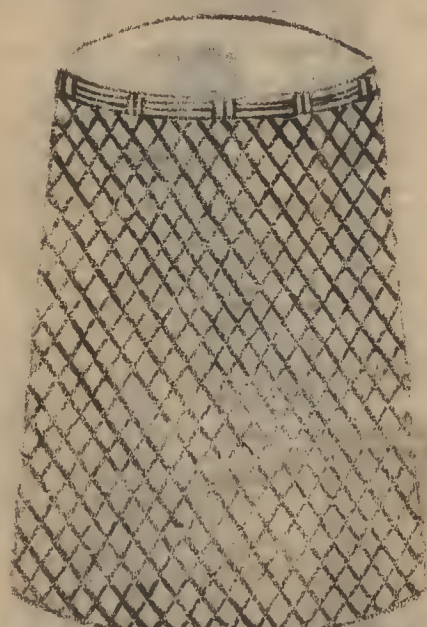
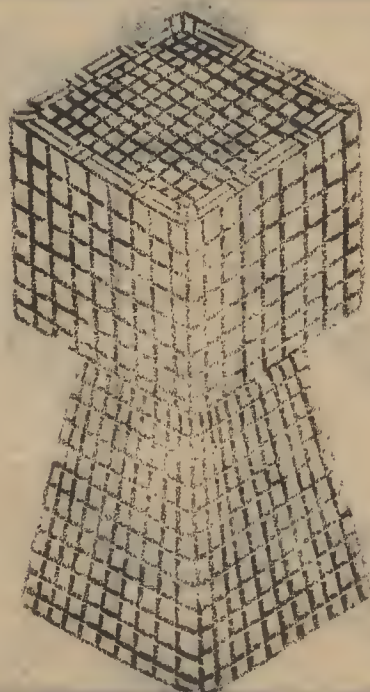
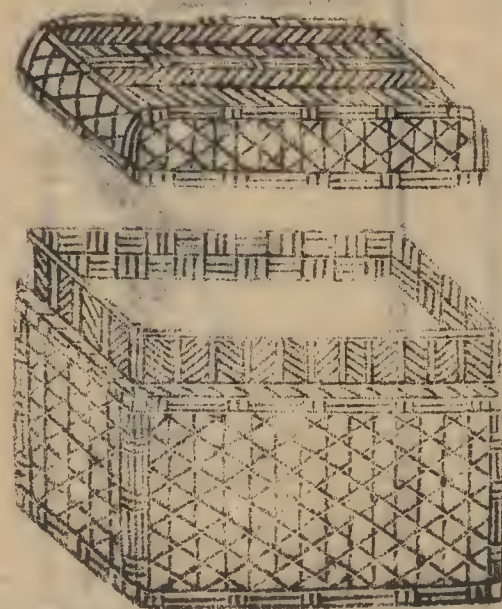
とつろくしん
とつろく長三ちゆうさん
入廣一入深いろうと
六寸足の高
二寸

竹

とゆくこれをつ
つ々祭祀の
うつハものだ

篋

籥いんと同一とんいつ形かたち圓まるくして
 長一五升と
 受うけふし



形

豆に似て早

爵と致し又

和と兼る器

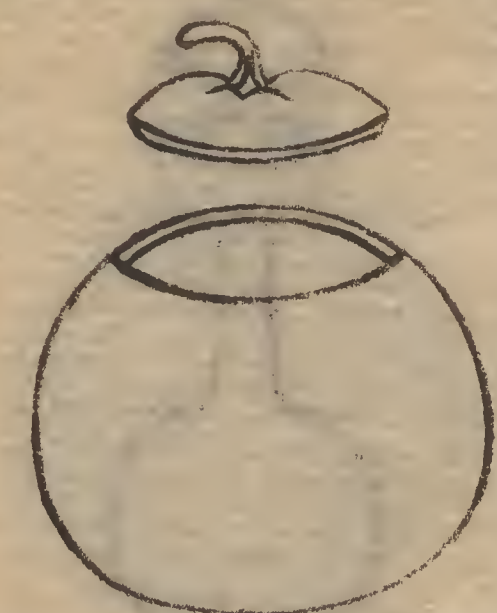
の類なり

甗樽取

甗と刻て横

とふて柄し

てんと酌し



人竈

以てその人

の圖と漆て土

と用也

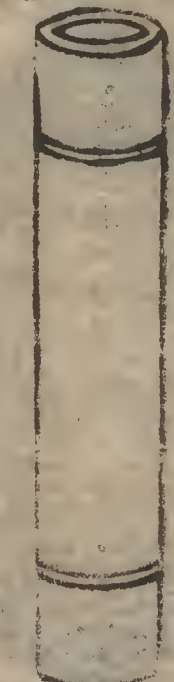
管簞

簞

太夫采記の更

都鄙

虎



方明

四六器を

上は奠つもの

脩

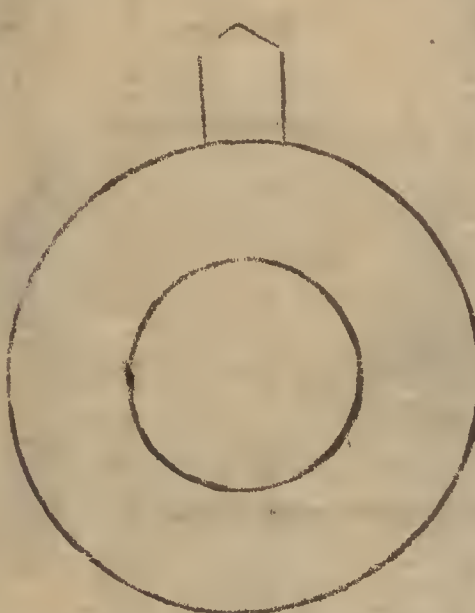
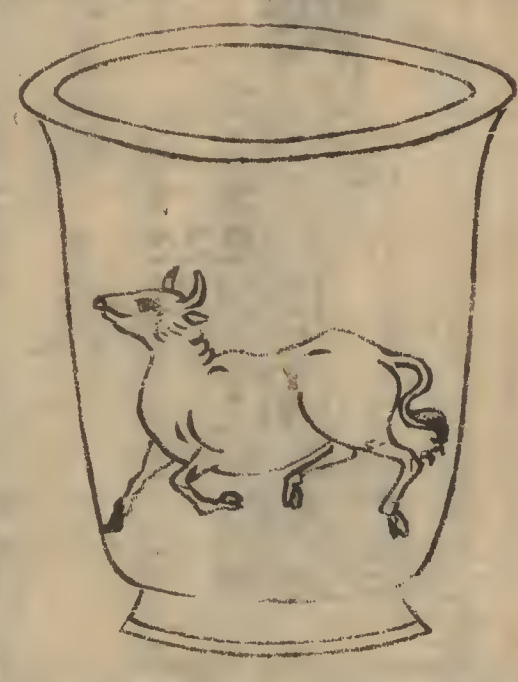
用中尊

主壁

鏡とま

天地

位よりてう



璋射半

圭と璋と

斜

と射射と

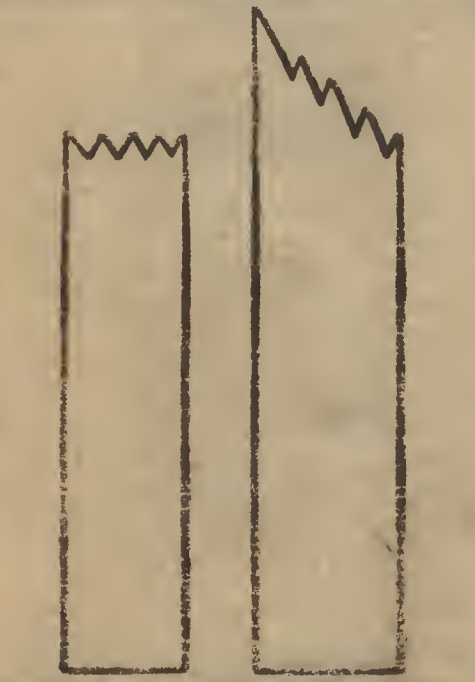
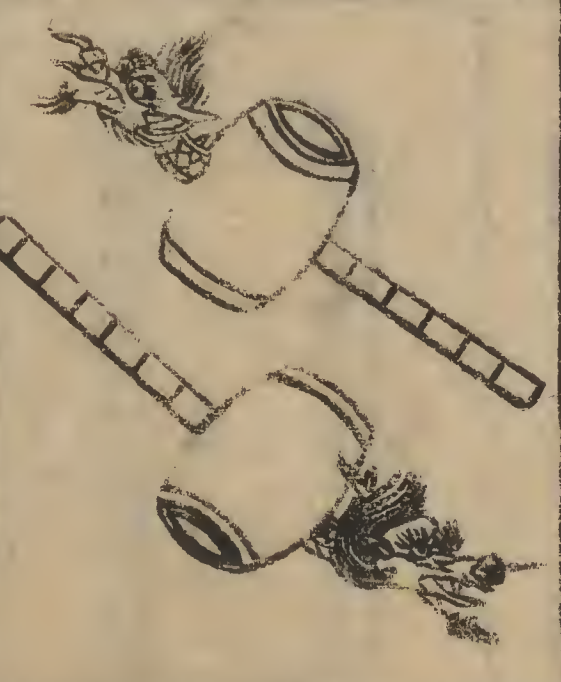
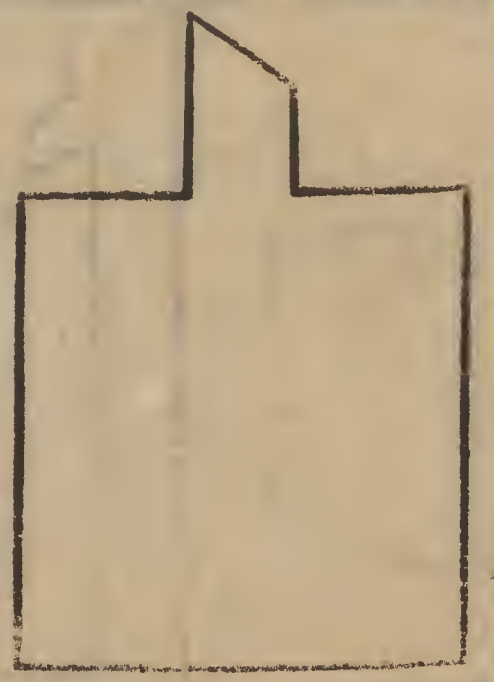
邊璋

中璋

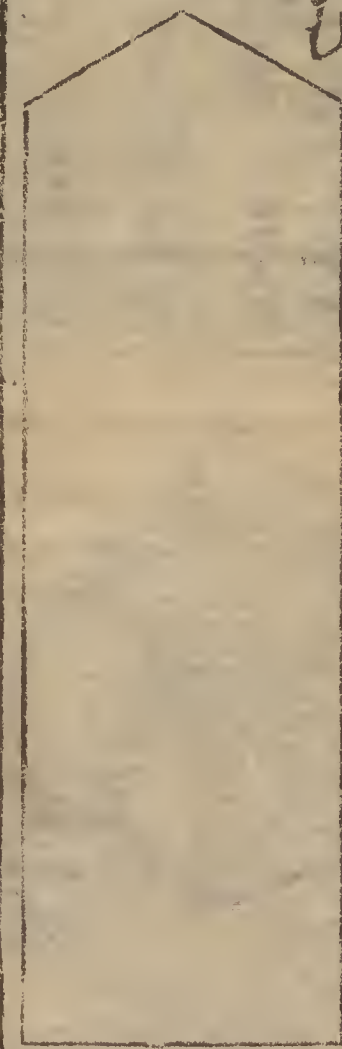
牙璋

小軍

カイ



主月主 長九寸上各半一寸と
刻む



信主 諸侯、信主ととも長七寸
人形と琢る、信と飾る

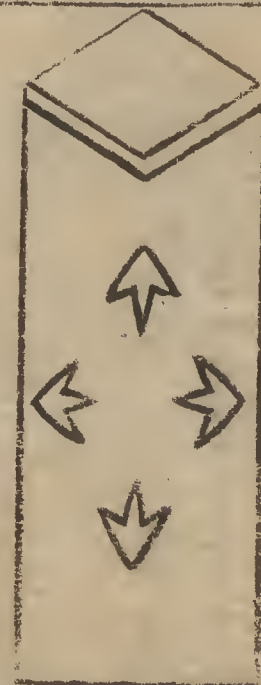


躬主 伯、躬主ととも長七寸
人形と琢る、躬と飾る



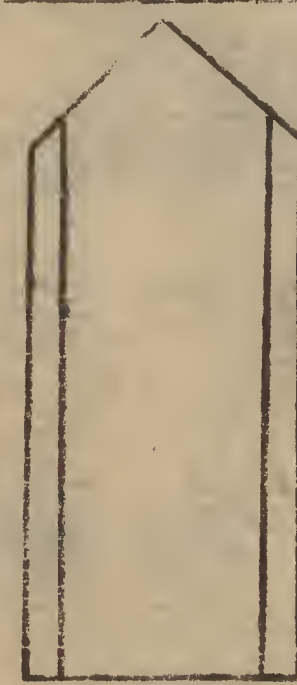
鎮主 王

長一尺二寸四
の鎮山と以て
琢る、飾る



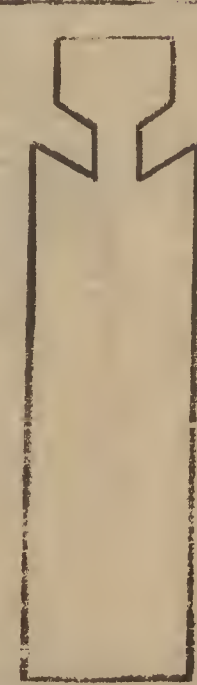
桓主 公

桓主ととも長九寸雙桓
と琢る、飾る



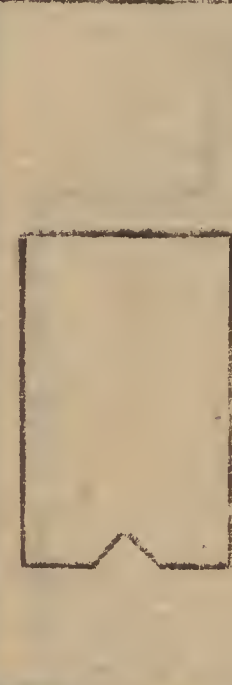
大主 長

三尺天子これ
と服る也

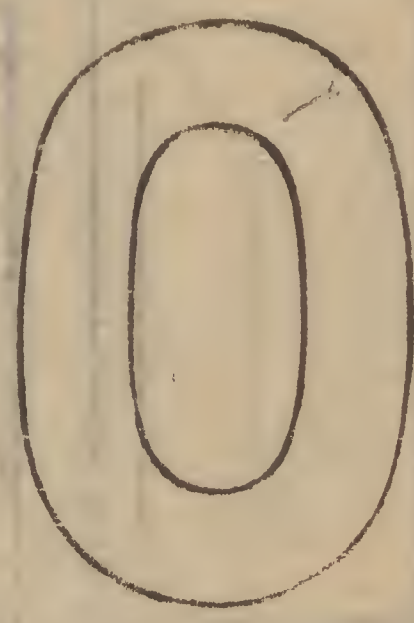


冑主 長

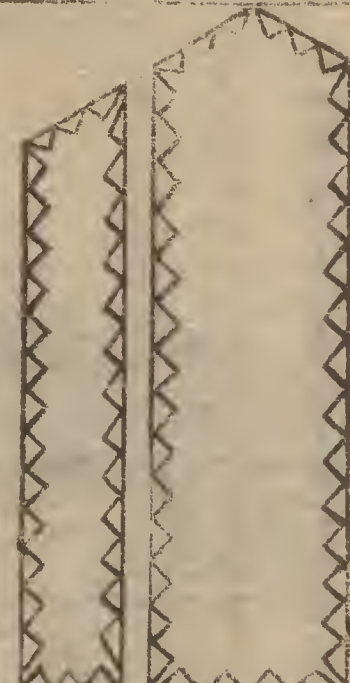
四寸天子以て
諸侯と朝
とむ



璧 長

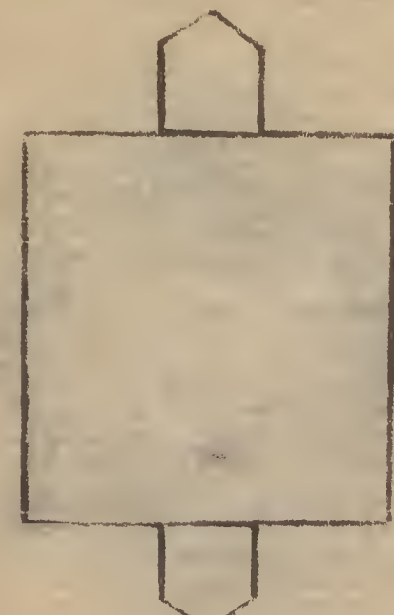


環 長八寸



長八寸環、聘
とて、大者より衆
来く、環へる也。
なにより用る
か、わ

兩圭有邸



長二寸半、以て
外方にうらぬ
ところなり

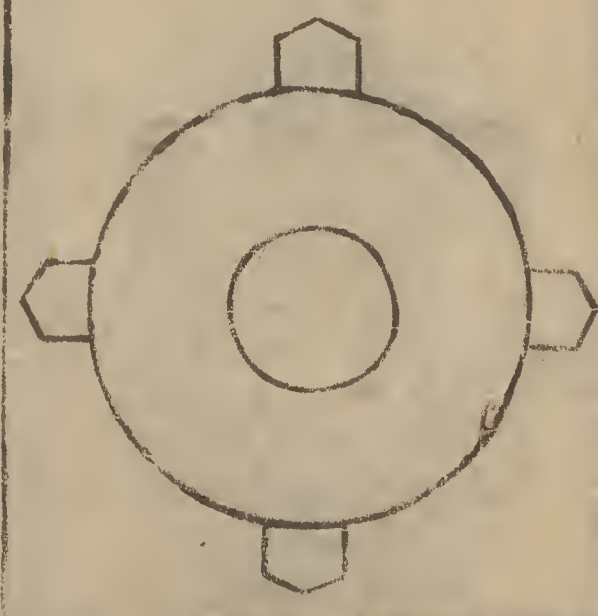
玄璜 北

方乃半璧と
横よりよこ



四圭有邸

玉璜ハ六寸中
に居て四面各
圭と琢る、長
一尺二寸



蒼璧 天と

禮するに用ゆ
圓よりてより
九寸わつと二
寸



黄琮 地

礼するに用ひ
毎角一寸六
分は地を長
八寸厚一寸

琮圭 長

九寸徳と治
好と徳ハ琮ハ
圓と方ハ義

琬圭 長

九寸上に鋒
さわり

大璋 長

七寸諸侯女と
聘するに用ひ



組琮 組

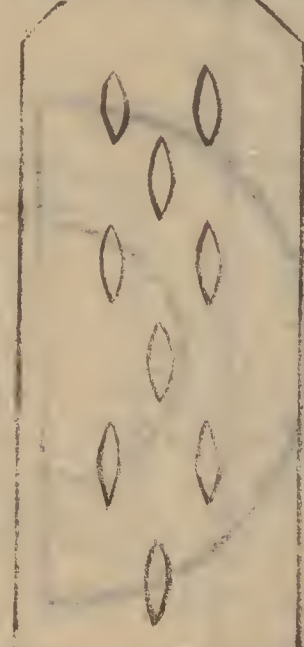
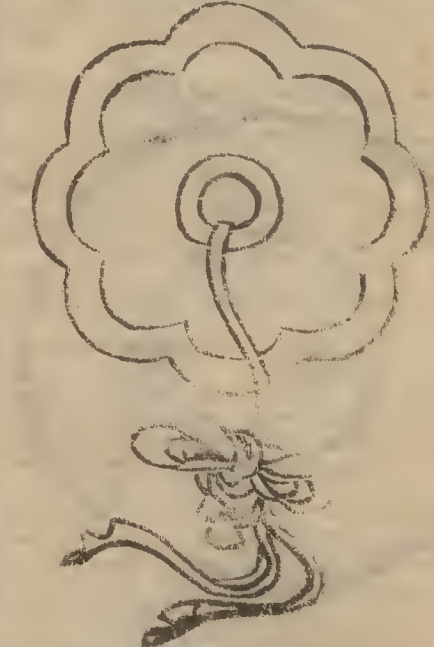
角寸琮
繫く天の七
寸宗后ハ五
寸以て權と

大琮 一尺

二寸内鎮
宗后とこれと

穀圭 長

七寸難と和
女と聘に
信なり



赤璋 南

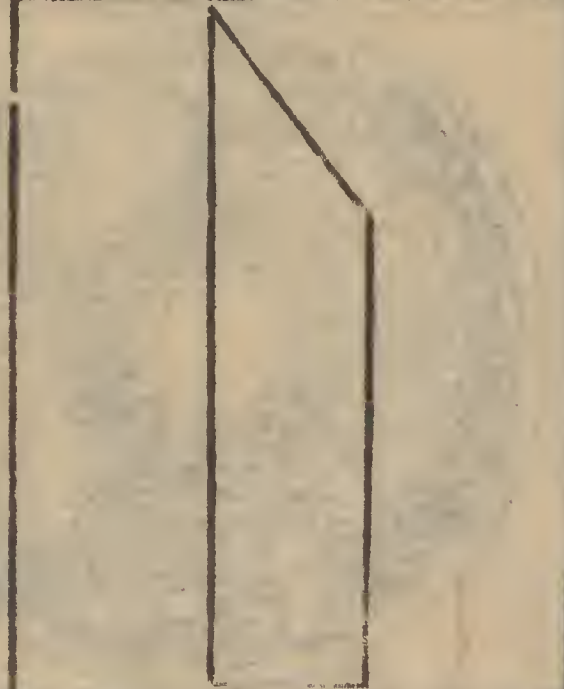
火の色ハ
と半圭と厚
とハ

白虎 西

全の色に象
長九寸廣さ
五寸伏虎を
刻ひ高三寸

蒲璧 諸

侯の封圭これ
と執て執
以て瑞と玉に
合するなり



穀璧 朝

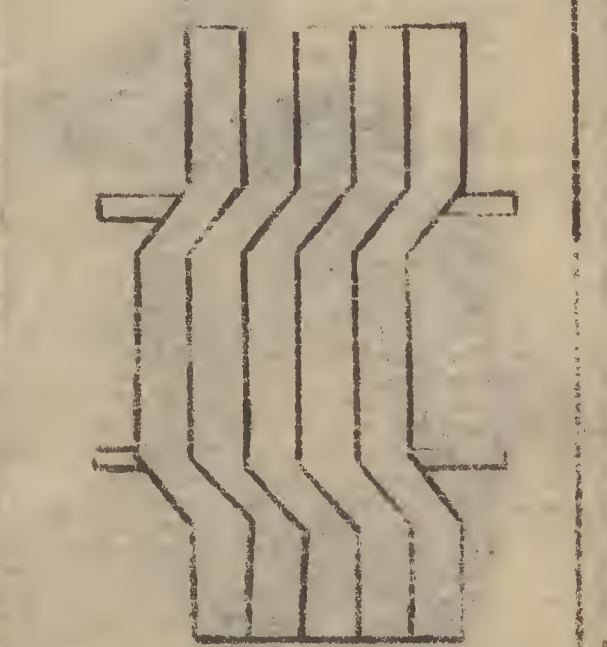
穀の時諸侯
王に會同する
に各執る取の
圭わりをハ男
の執るハ男世

縹藉 天子

の縹藉五采
の文の縹と以
玉と蕙木と
中幹と章衣
と以て畫なり

縹藉 諸侯

の縹藉三采の
文乃縹と木
と中幹と
章衣と以て文
と畫なり



蒲穀繡藉 子爵

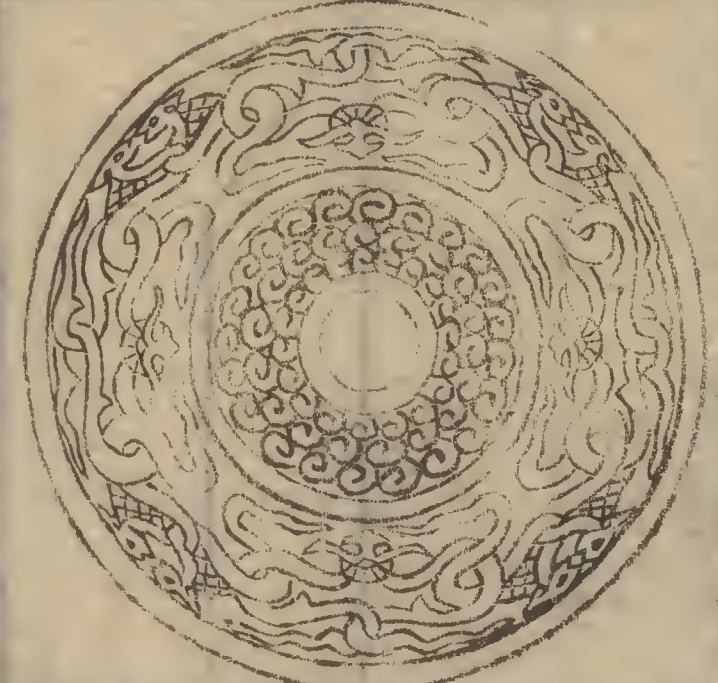
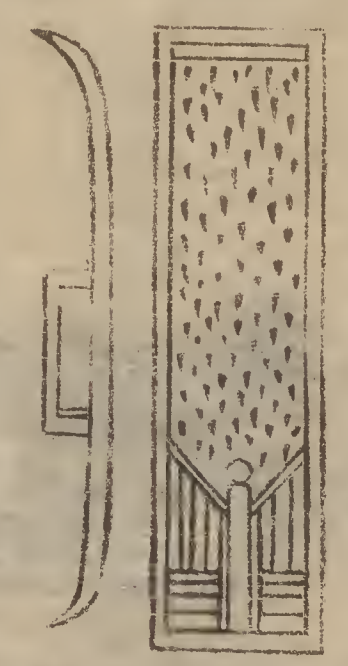
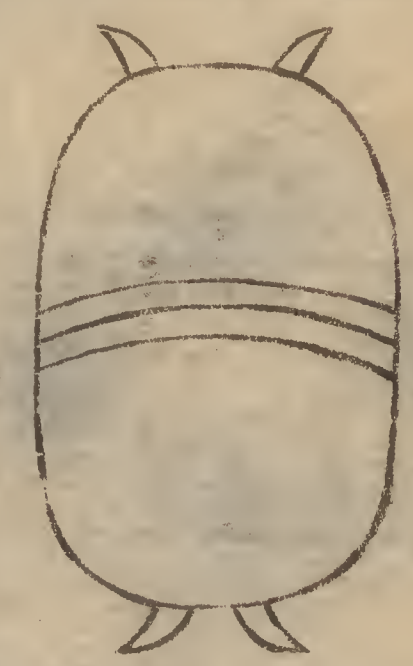
の位ハ二采シ
制上

瑞玉璽 玉の

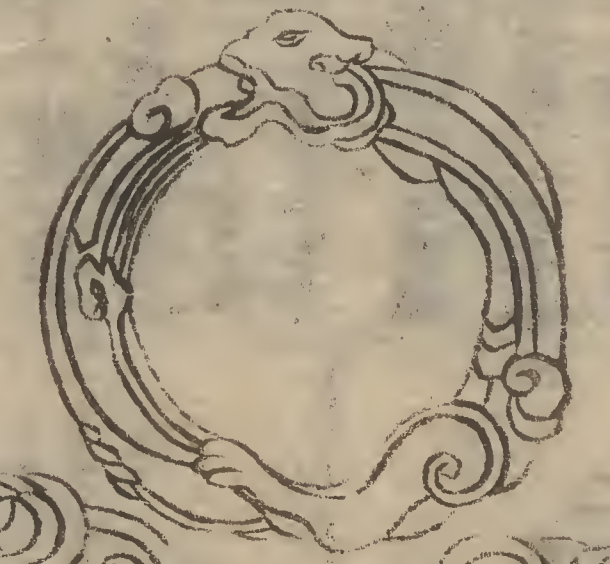
赤色と瑞と
一瑞ハ紋の
鼻より

拱壁 徑一

八蒼文ハ館
瑞中に雲氣
とつらなり



瑞王璽



水蒼珮 これ

大夫の佩ハ取
の玉ハ山玄く
多蒼ハハハ
文ナリ



連環印 此印

祖ハ壽亭侯乃
市ハハ開南の
司馬官此の紐
ナリ

のハハハハハ

玉環 玉の

玉環 玉の

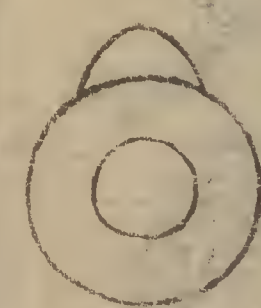
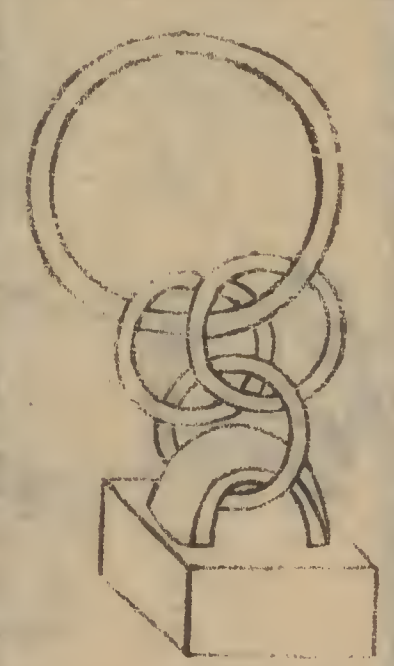
玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の



瑞 懐

二寸六分長ハ寸
三分天地四方に
くハハ天子ハ神
とハハ天子ハ神

玉三代前の物

中ハハハハハ

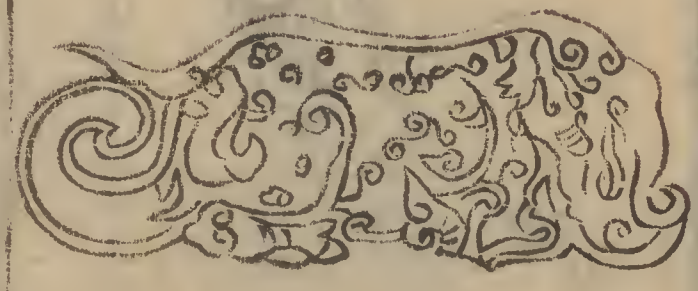
玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の

玉環 玉の



蒼玉玲瓏 上
瑤玉耳珰 右
黃玉珰 左



瑞玉馬黃玉人

馬身高三寸八分
身長五寸四分
玉色微青
作人馬形



玄玉驄 唐の

馬式しきまふ
と孫く式く
案の同じ真り

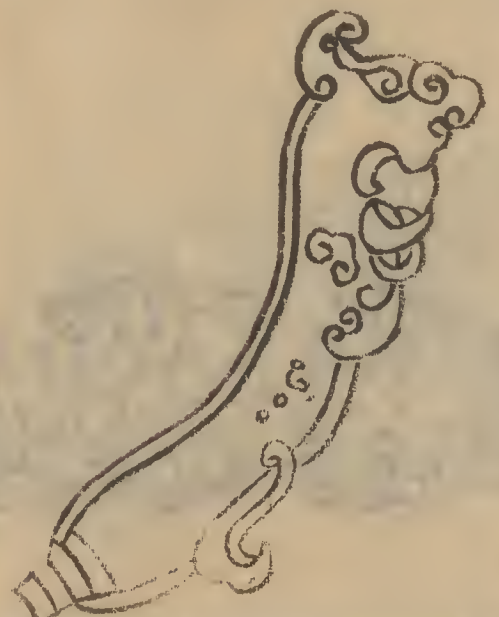


瑞玉環の
属し虎の文
とわらうと
なりもバ意こ



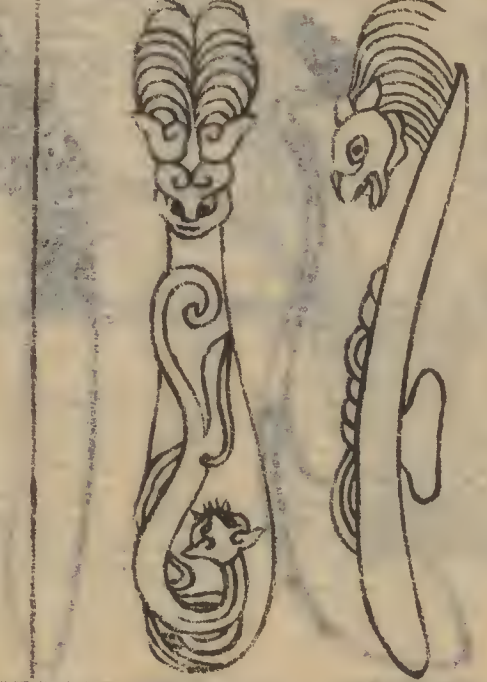
佩刀柄 礼

記に左より
と佩くしわり
とつかうり



漢雙螭鉤

長六寸二分
九分玉色
倉白黒
古銅製
母の蟬廻顧状
これにひき
銀くくくもの



銅虎符制

虎符をさ五五
八分銅製
二斤相合
漢の用



海馬後鏡

漢陽日月
鏡の文
おそれ



博山香爐

銘八字

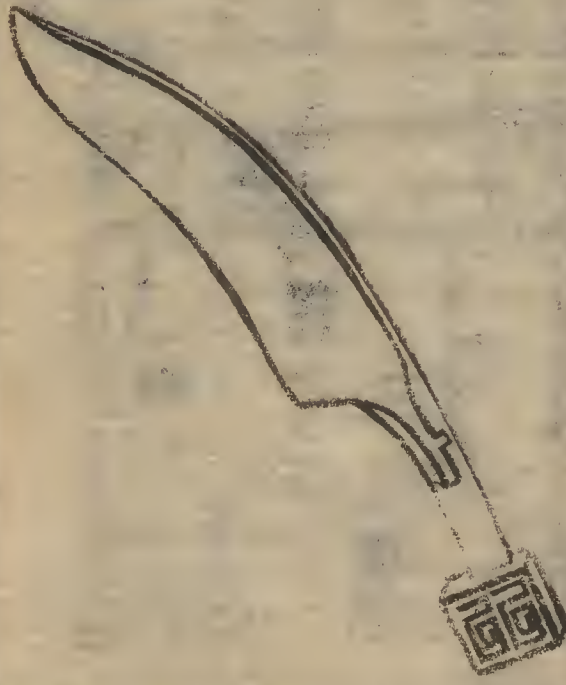
天與子孫富貴
宣昌



漢朝故事諸王出閣則賜博山香
爐晉東宮舊事曰太子服用則有
博山香爐一云爐象海中博山下
有槃貯湯使潤氣蒸香以象海之
回還此器世多有之形制大小不

漢刀筆形刀

この形柄の間に
用る古人簡牒と
ちがて書と削
しかり



杖頭 此制

費長房の壺公
に後、遊へ時其
瑞に及て杖を投
ぎて龍に化し

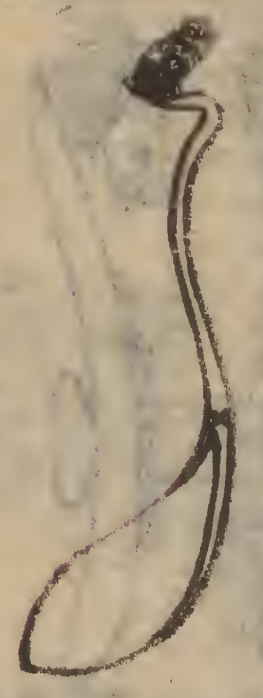
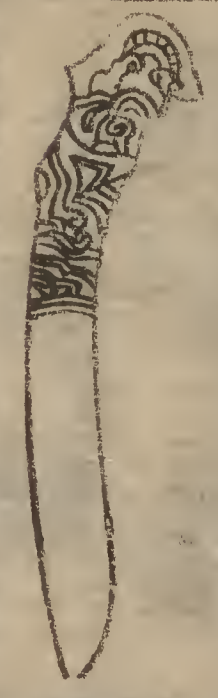
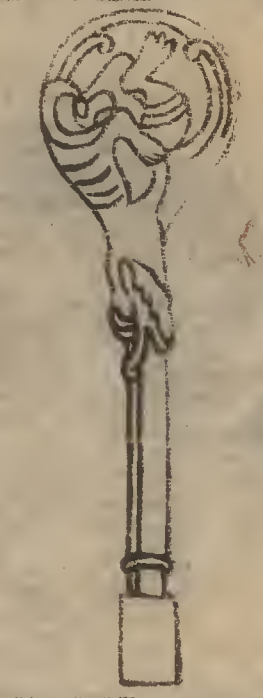
漢龍提梁 高さ
二寸三分 長さ六寸
三分 個八分 重
八兩七錢

宋服の飾 漢
代天子の物なり

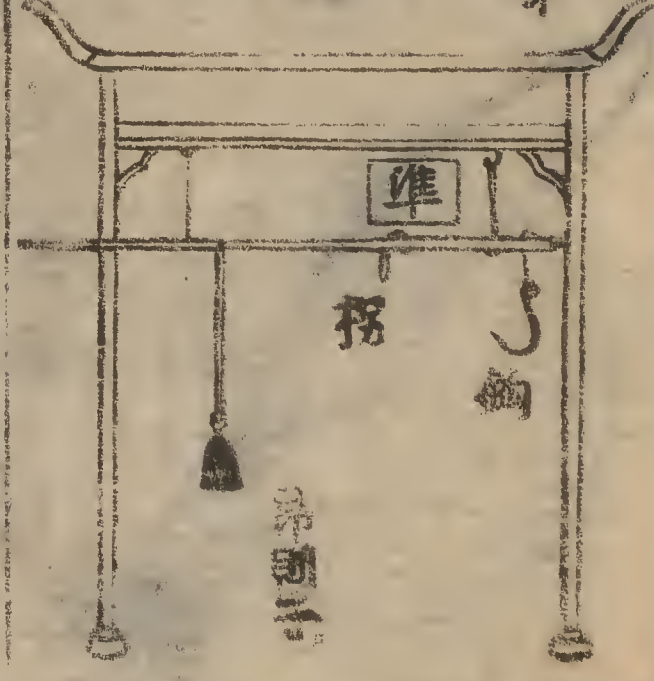
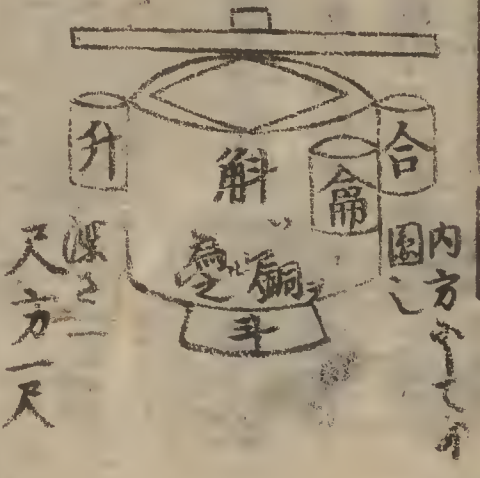
削 長さ
一人重さ三兩

博 一丈あり

刀 長さ
一丈あり



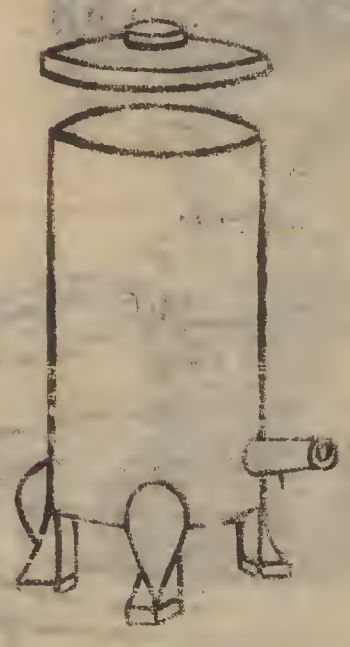
量



量ハ其漢の命はかうその極と
千二百と容て命の中に真しき井水
とりて準う十命と令し十合と升
と令し十升と斗と令し十斗と斛と
衡も亦一命の重十二銖二十四銖と積て
一斗は十石と令し

丞相府漏蓋 高さ

九寸半 深七寸
半徑五寸八分
五升と容る 銘
井一字り 漢
乃制なり



古制 蓮漏圖 水と
更籌

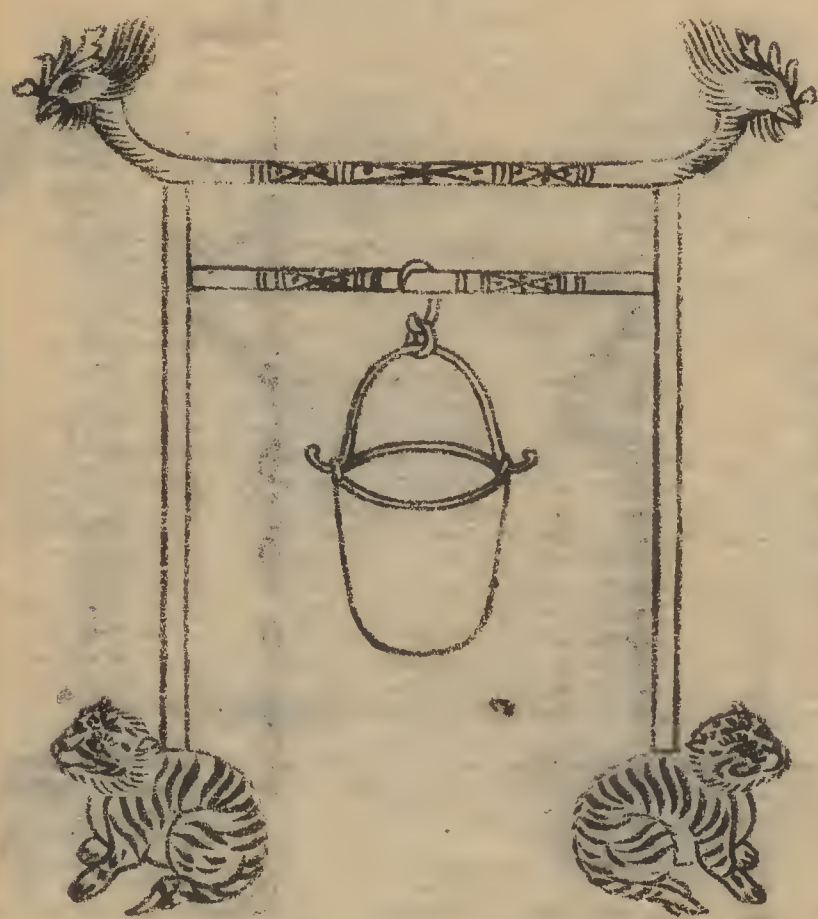


今制 蓮漏圖

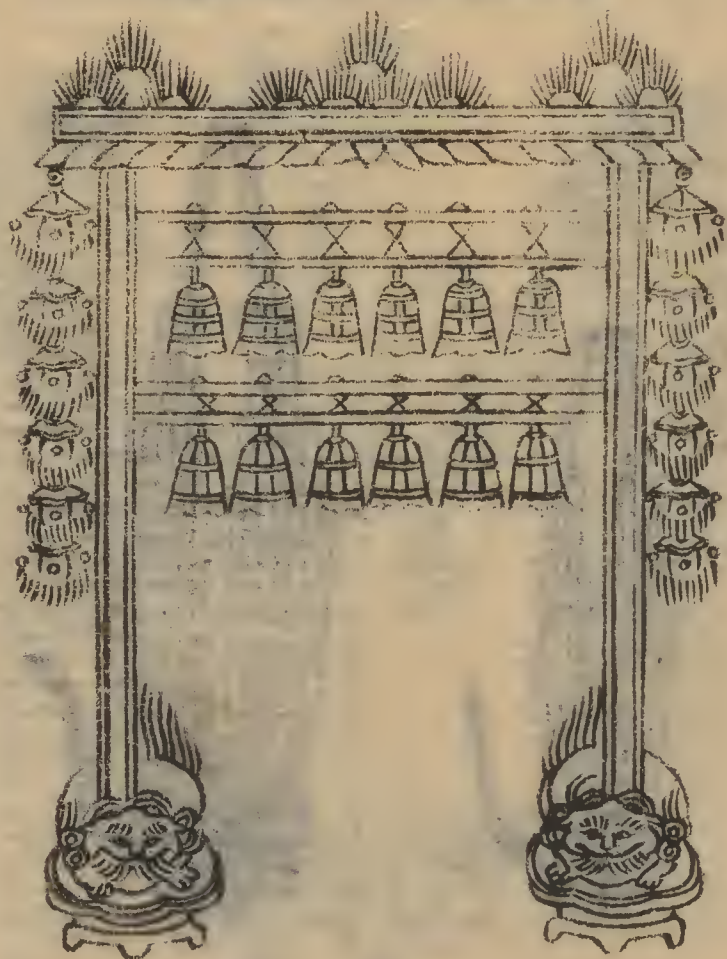


漏刻ハ其帝よりて制りて蓋表と其の内の準蓋氏を蓋と百刻に
その内を八晝四十四刻と蓋表と十刻と蓋四十四刻と蓋二分に
晝表各五十分刻漢哀帝の時改て百二十刻に漢武帝大同年十
改て百八十刻に唐の時よりて蓋表百刻として古制蓮漏人も終
國のく、宋朝よりと用て唐のく、法晝夜を百刻とし
十二めに、毎時八刻二十分毎刻六十分水とて二升八分
四十八分一氣に當り一歲漏て二百十六萬分蓋く表上に刻む紀
鳥水と別て下で通心るけくおと浮てりの上とせし

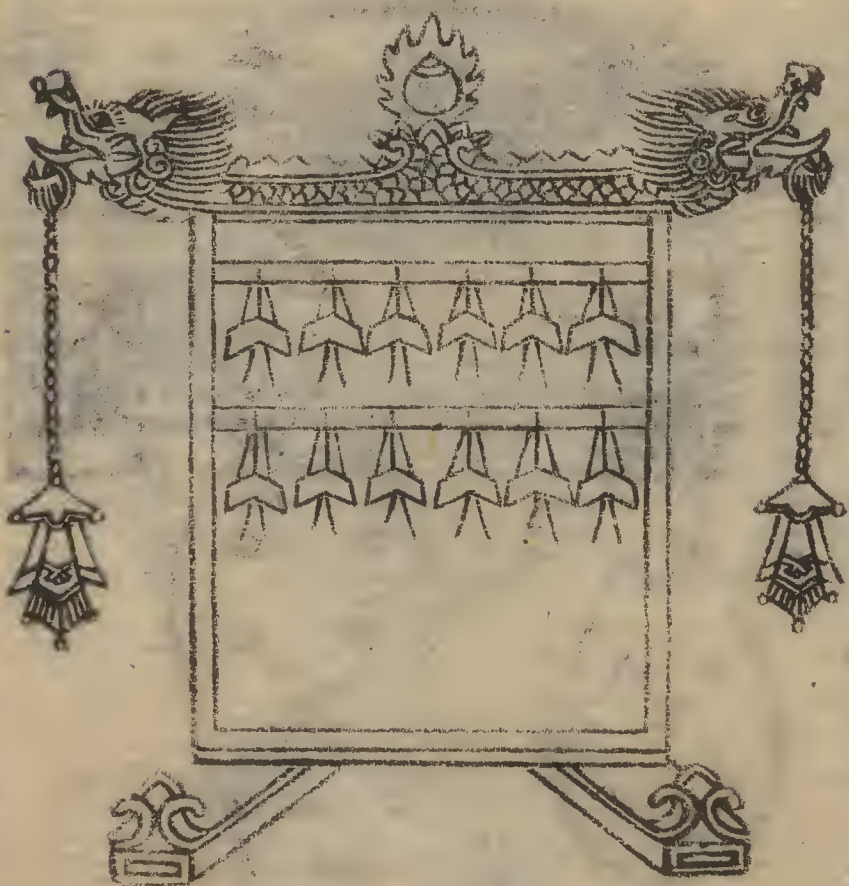
金鐘千図



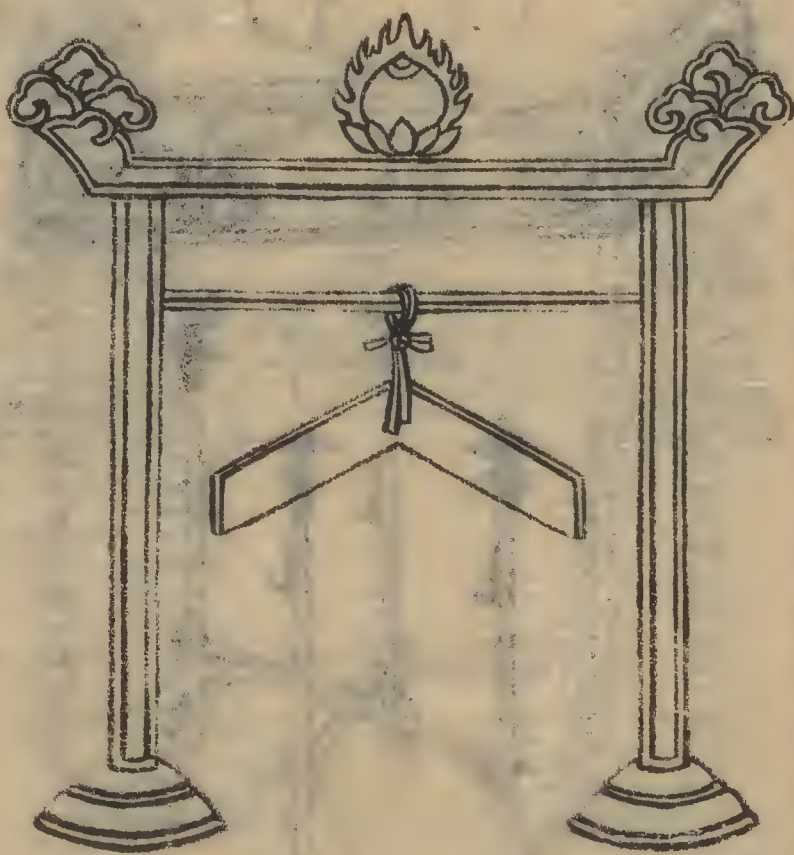
編鐘歌鐘



編磬



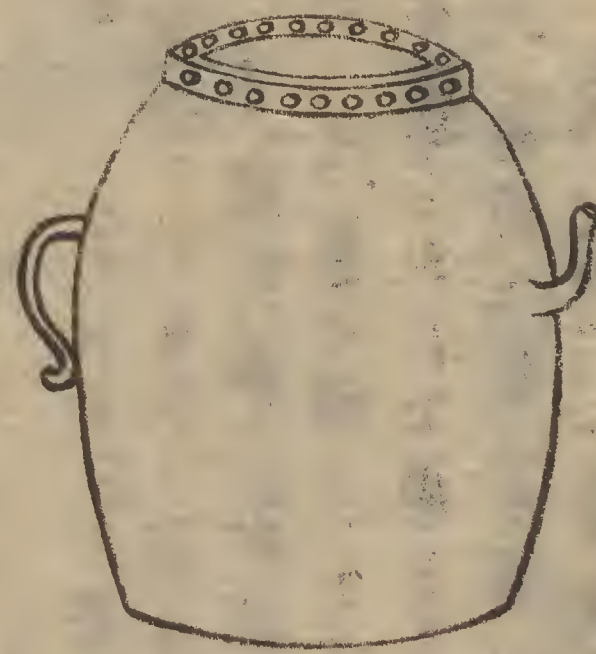
天球



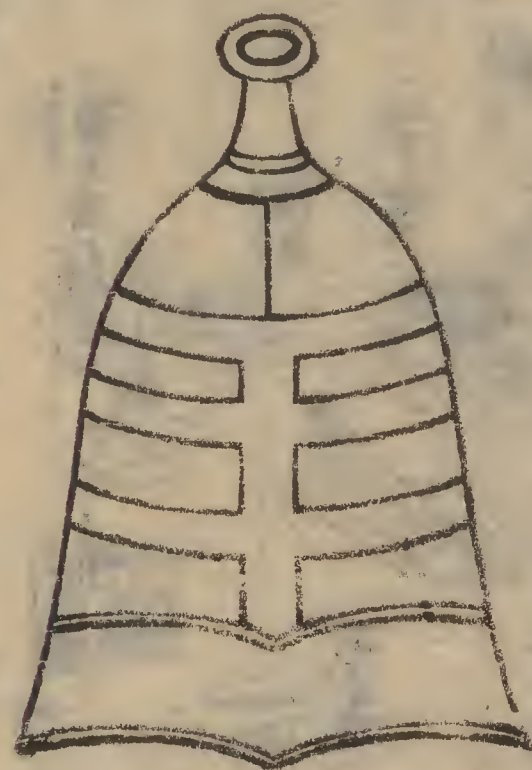
今斛
升斗
藥
厚

すま
すま
すま
すま

古斛
升斗
角
平



鐘鐃
八音
金の



鑪
大鐘
の
時
の
鐘

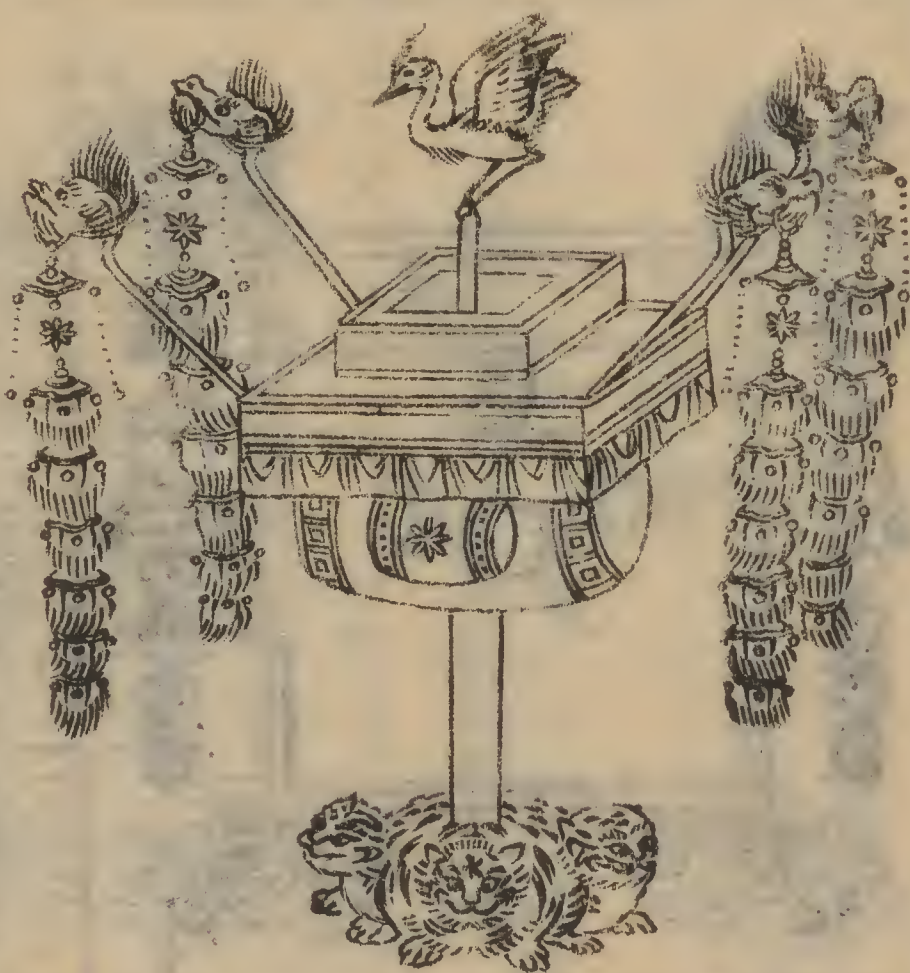


樂器

鼓 雷



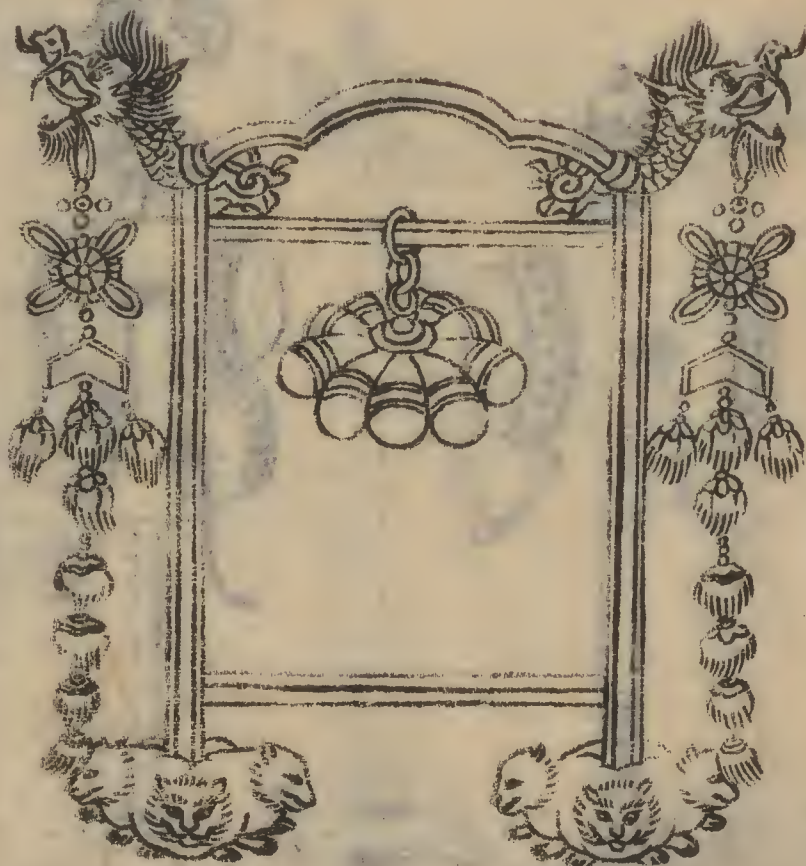
鼓 建



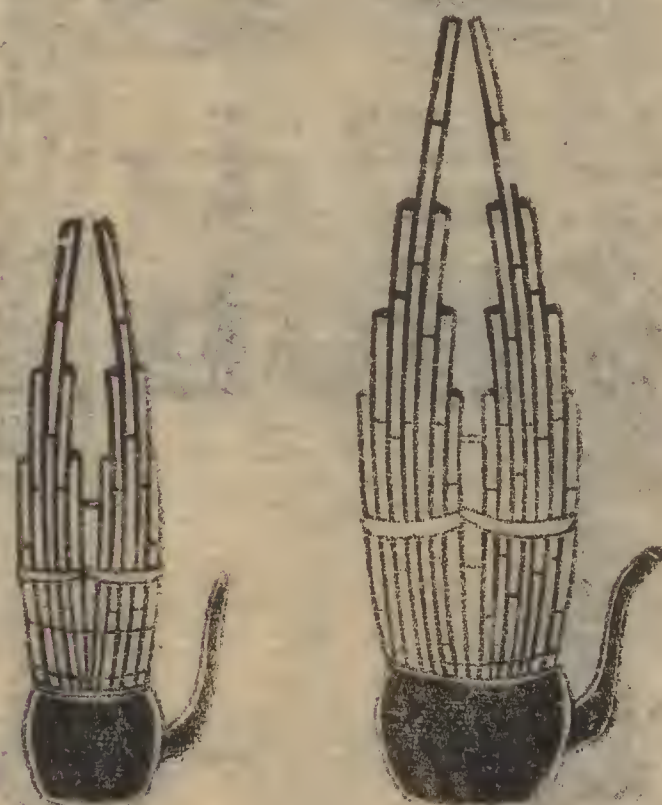
鼓 靈



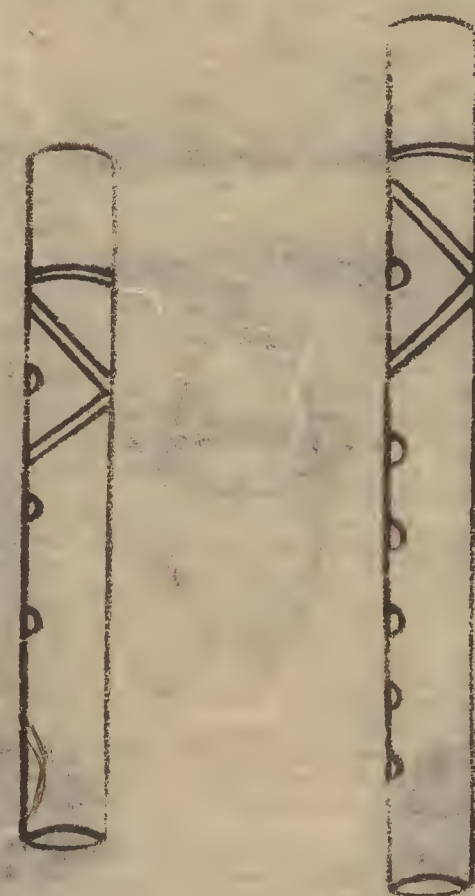
鼓 靈



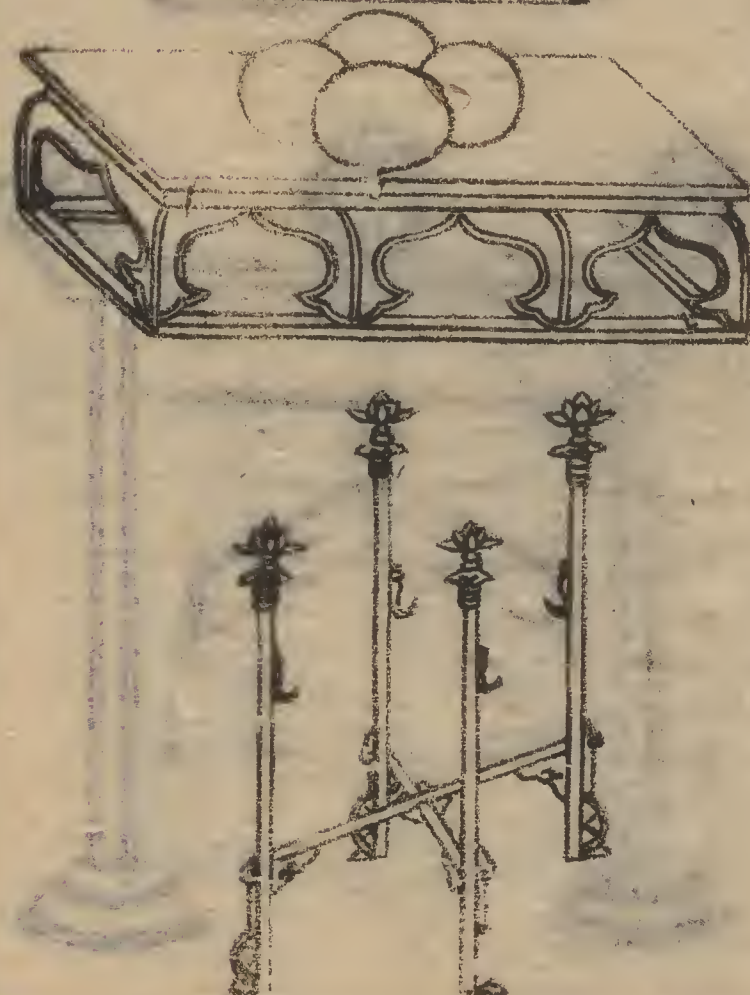
竿 小 大



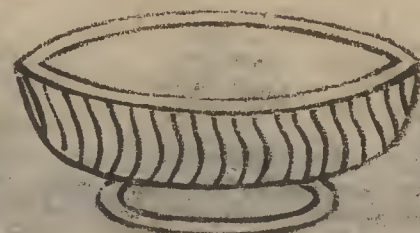
篴 小 大



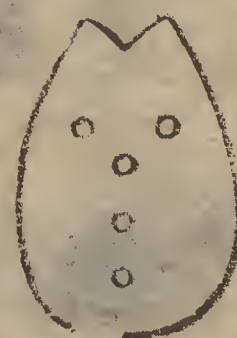
琴 瑟 拊



缶 古



小 埴



大 埴

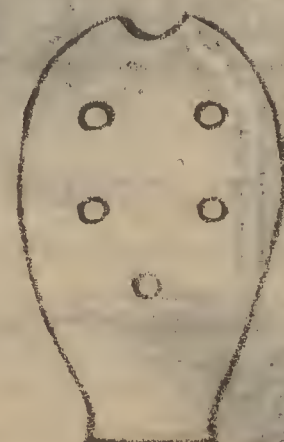


圖 鼓 焦

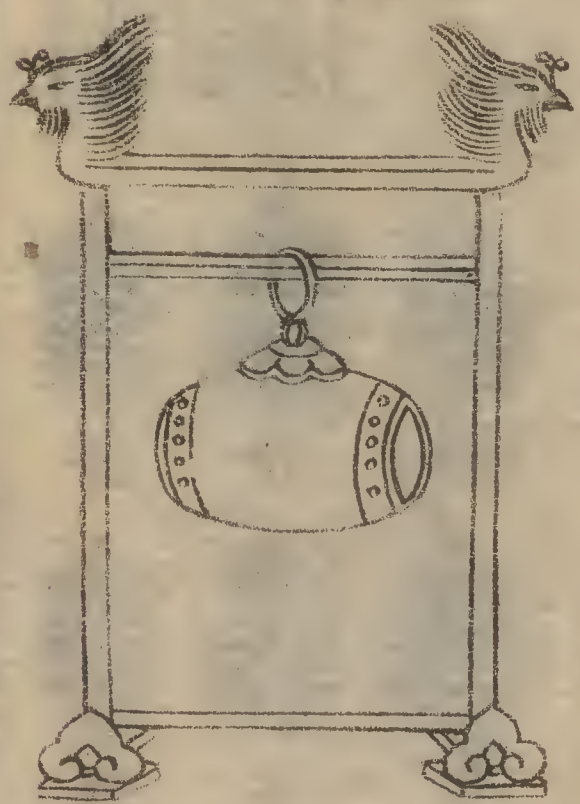


圖 鼓 晋

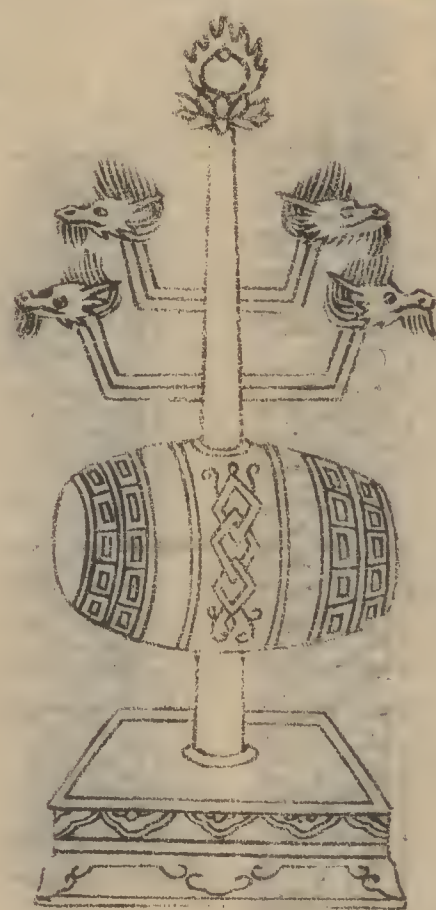


圖 鼓 鼓

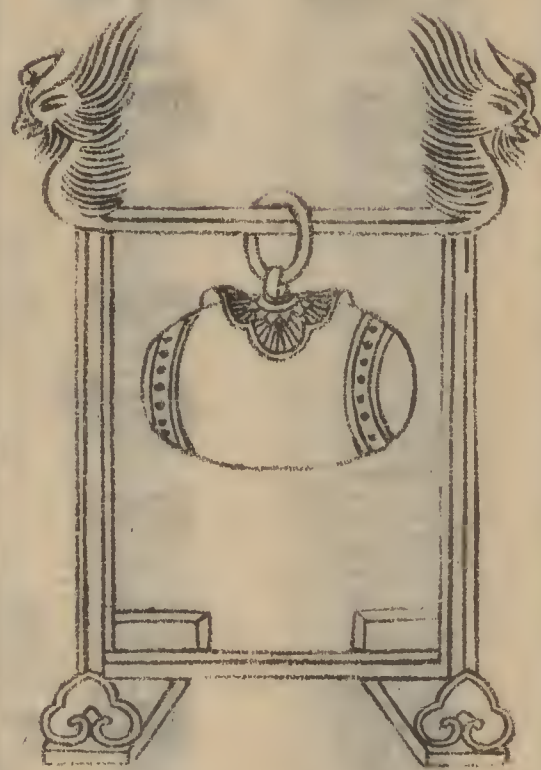


圖 鼓 鼗



圖 鼓 鼗



圖 鼓 鼗



鼓 路



鼓 靈



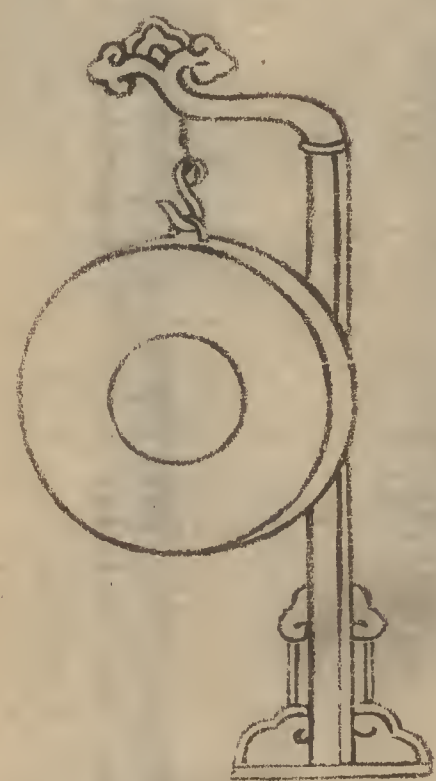
鼓 鼗 鼓 路



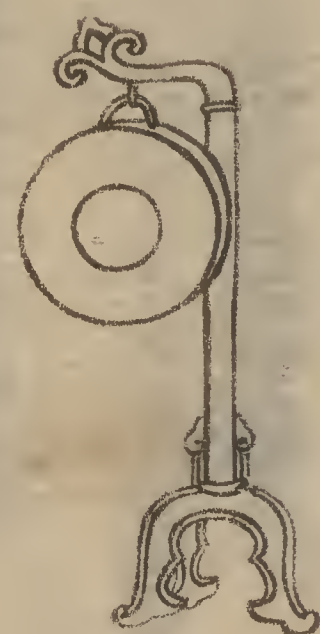
鼓 路



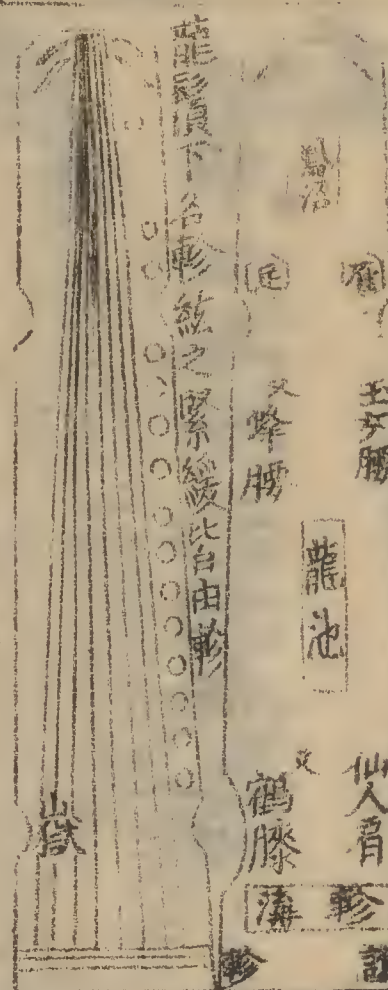
鼓銅



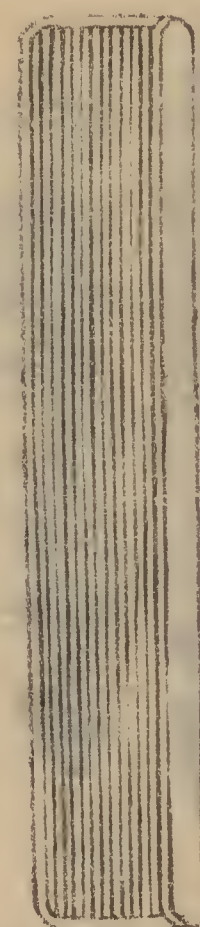
子點



尾焦



筑



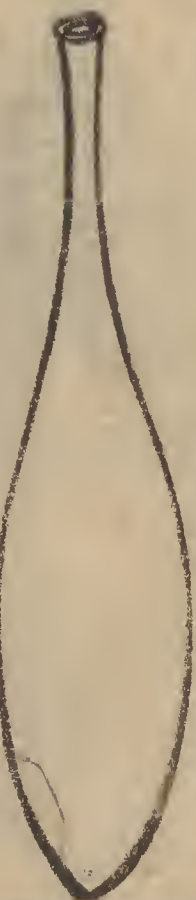
角桐



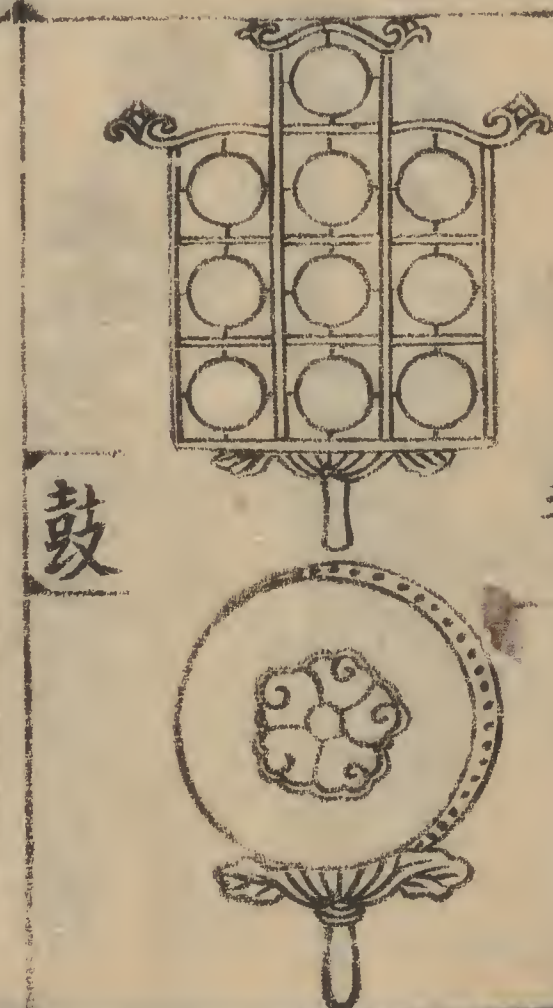
鼓土



子簡鼓魚



角畫

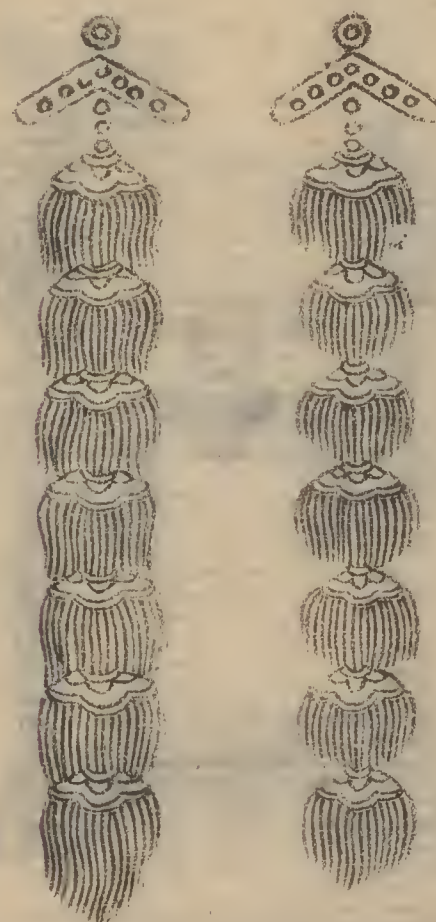


鑼雲

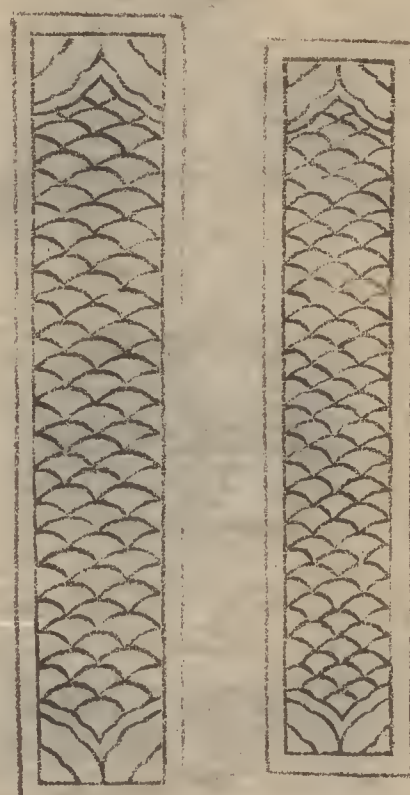
鼓

手

翠壁



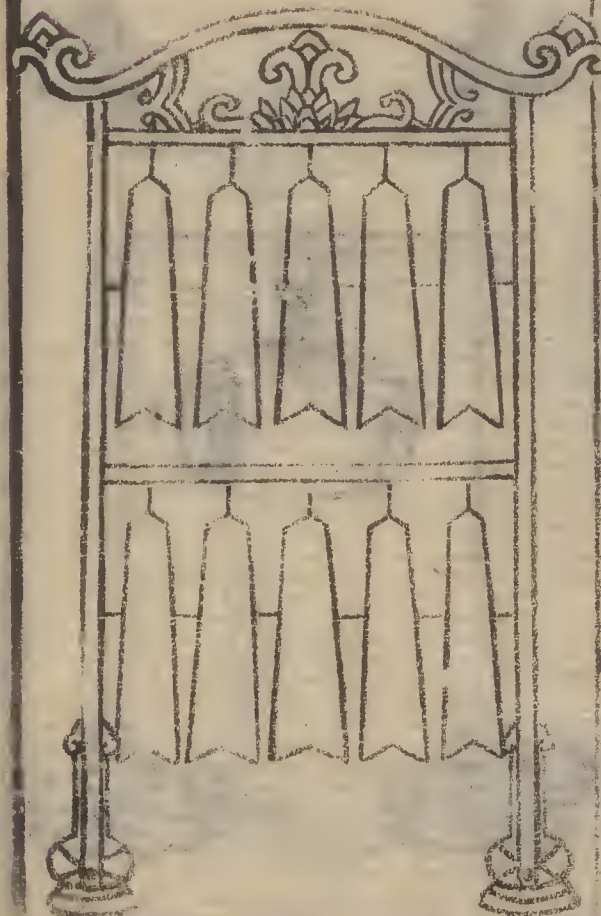
紫



羽植牙崇



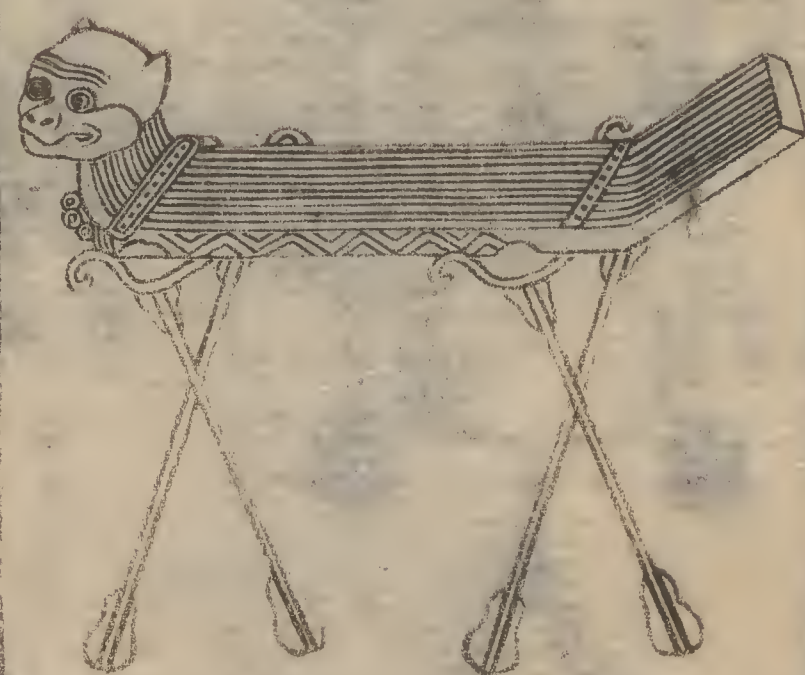
響方



板柏

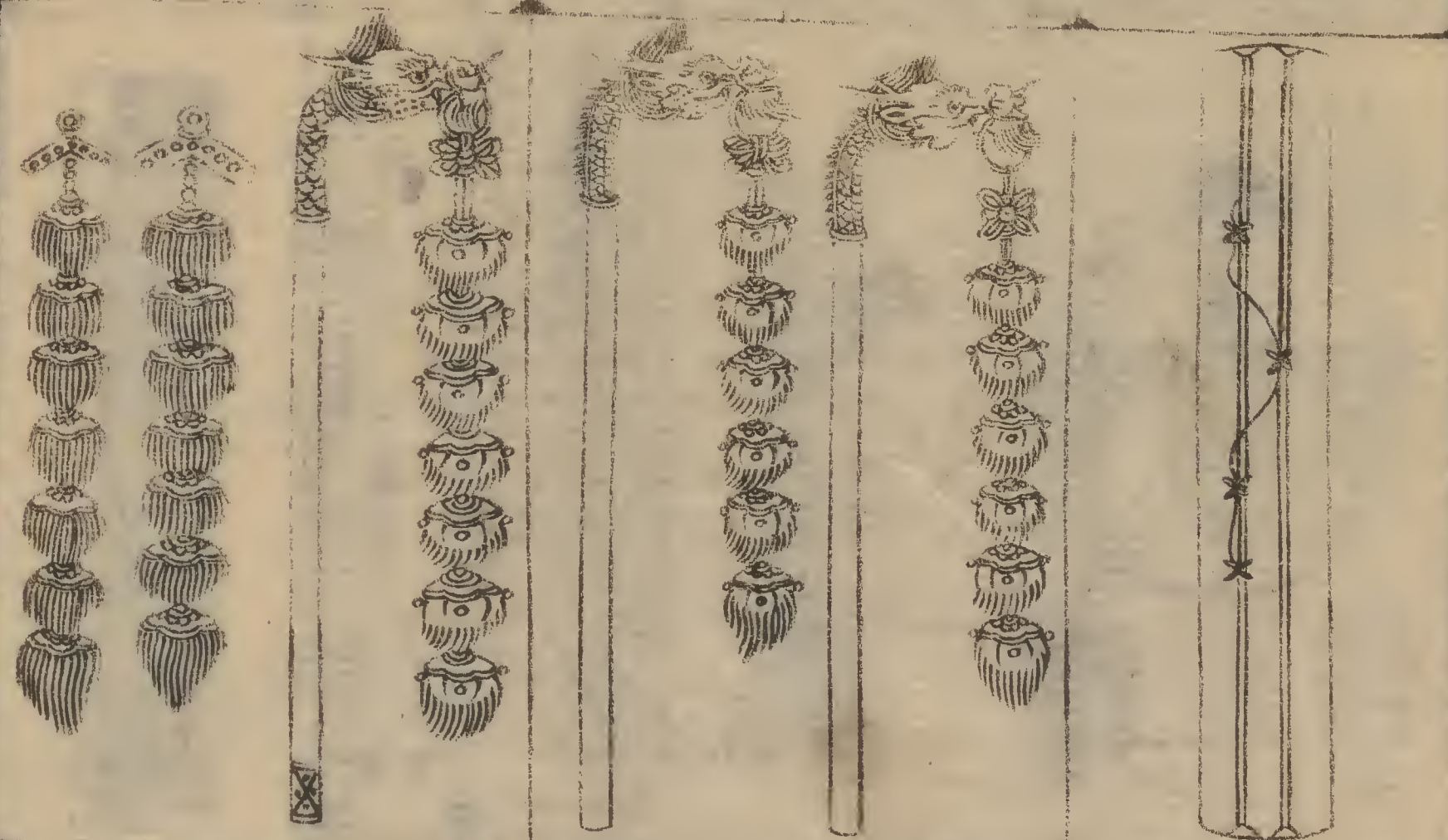


篋篋

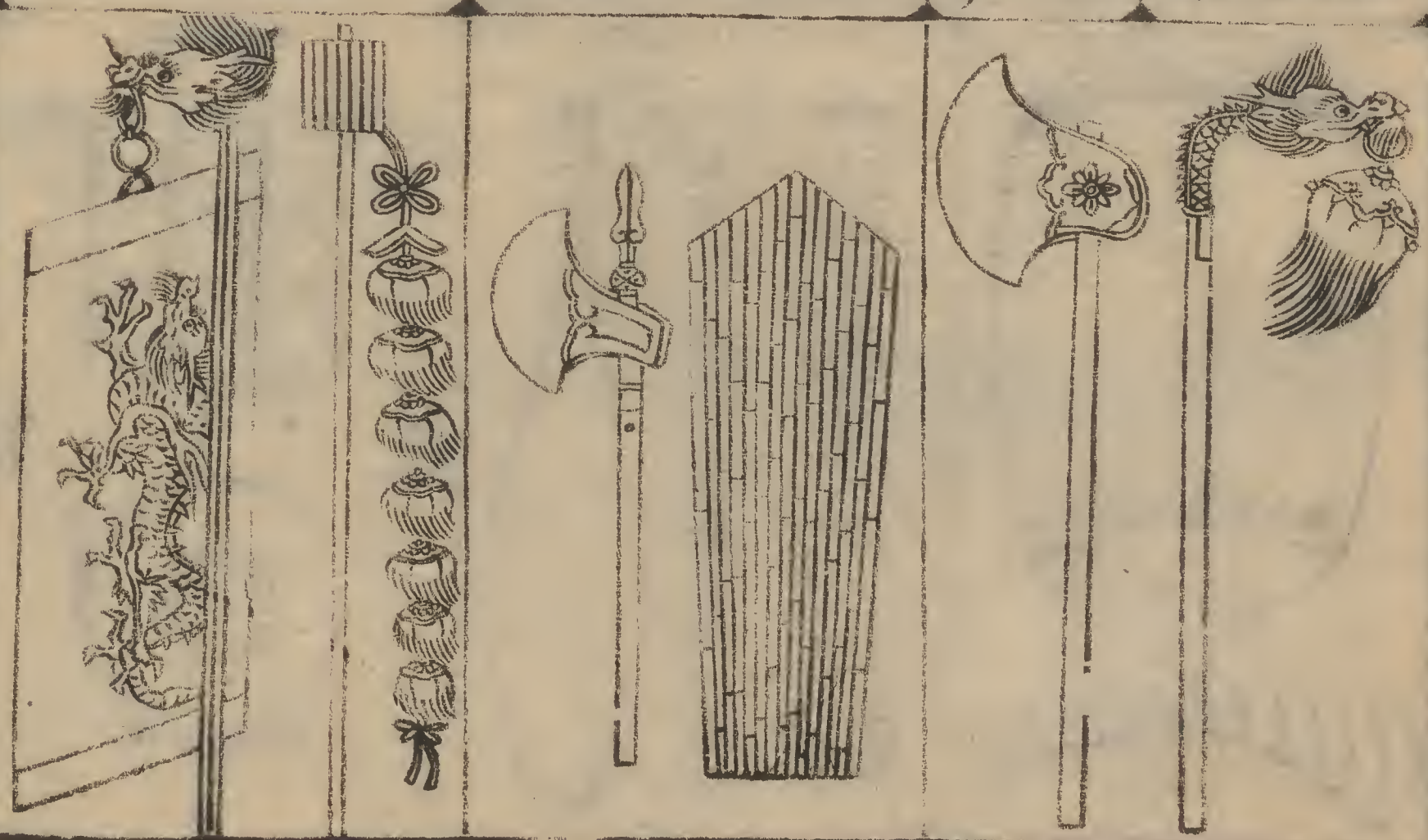


唐詩集卷七

翠壁舞帳 舞皇舞羽 鼓銅竹

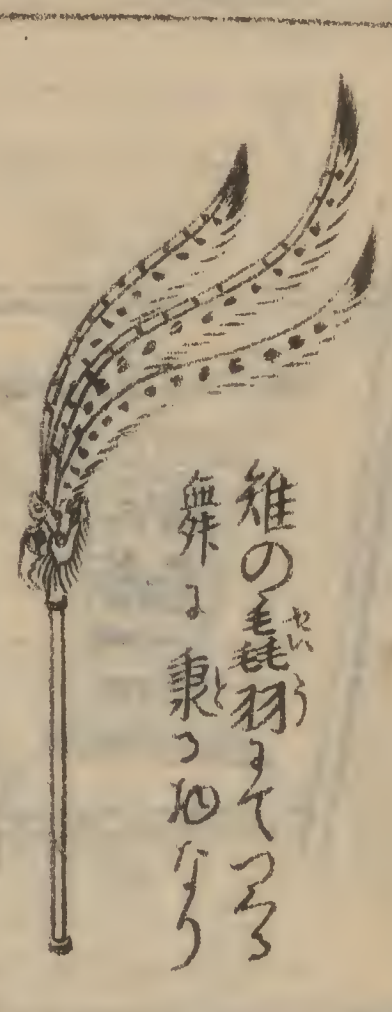


麾節 舞汗 威 舞旄



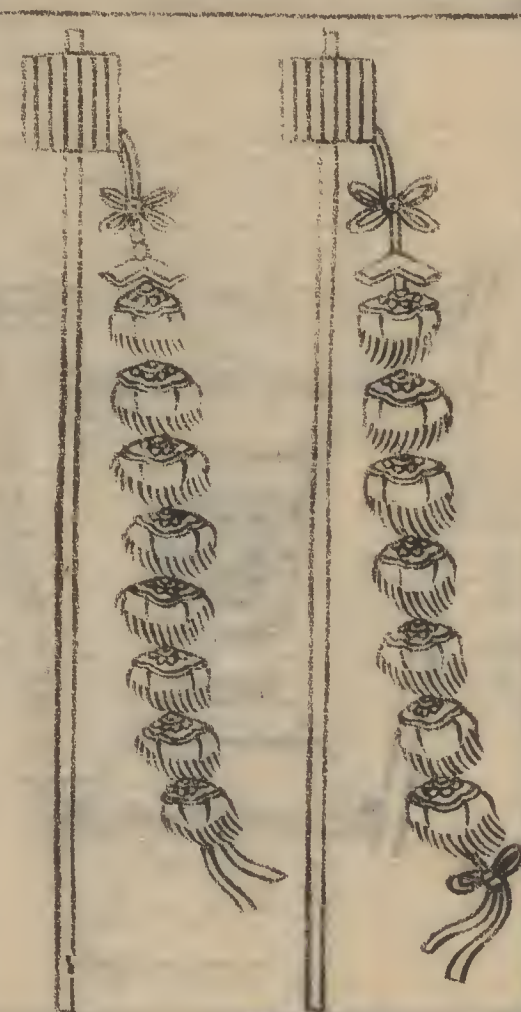
唐詩集卷七

翟

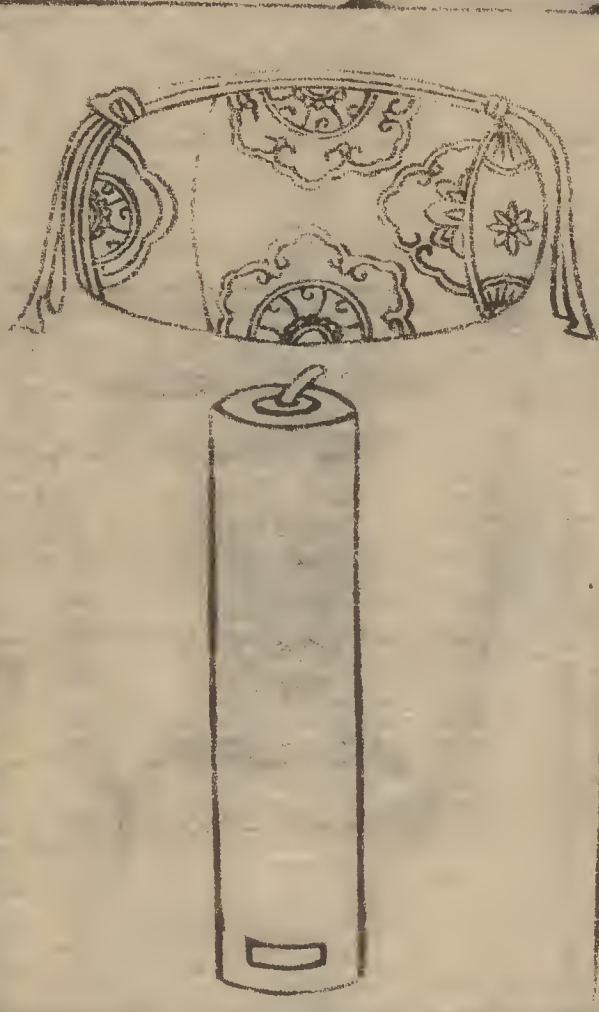


翟の毛羽をくつろ
舞に秉つゆり

旌 纛



應 相



雅 牘



鏡 金 鉦 金



侯 射



新侯

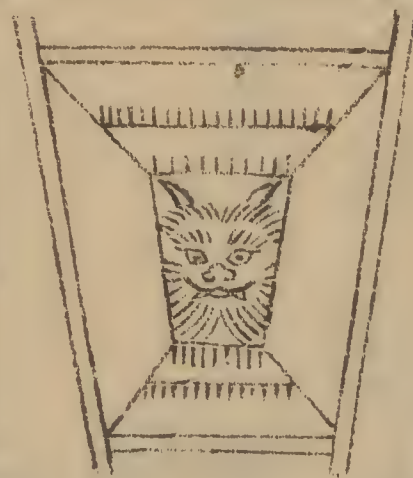
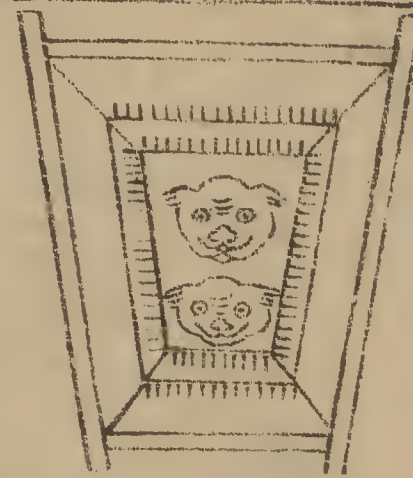
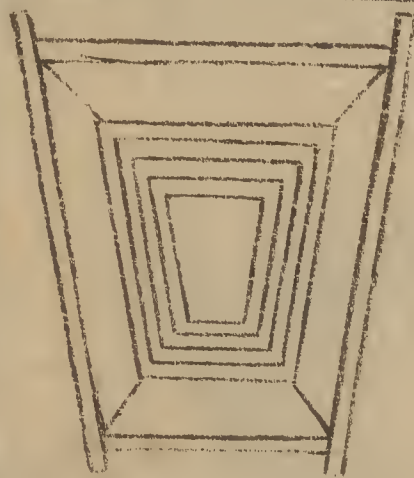
唐詩集卷七

唐詩集卷七

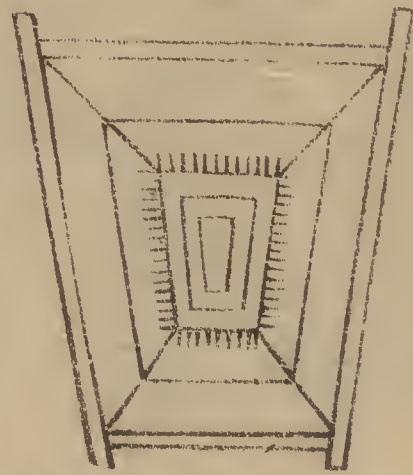
五正侯

獸侯鹿

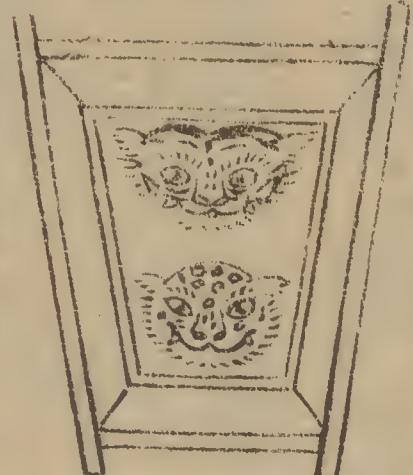
新侯



乞



三正侯



獸侯虎豹首

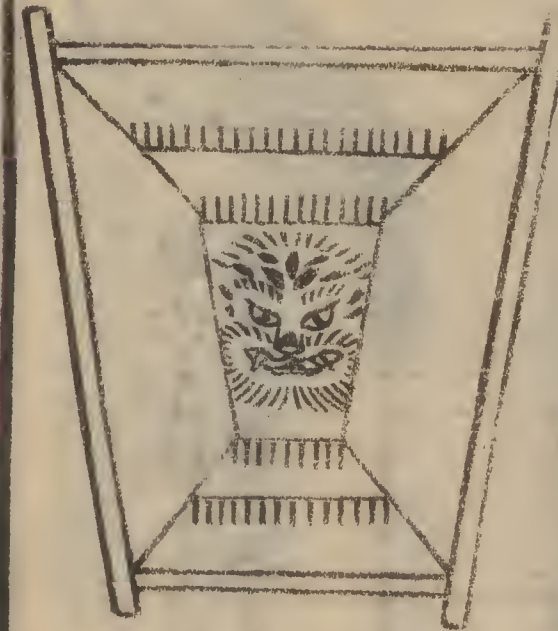
虎中



櫟侯

大侯

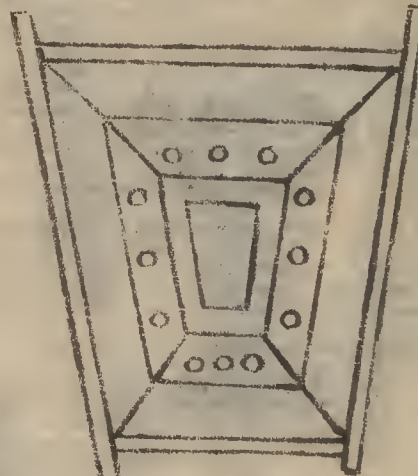
熊侯



鹿中

兕中

獸侯熊首



閭中



皮堅中



唐土訓蒙圖彙卷之八

器用之

船第

舟車

此船官府の驛程用者

船航

此制一舟に此の船



船划

此舟農事の舟

船尾尖

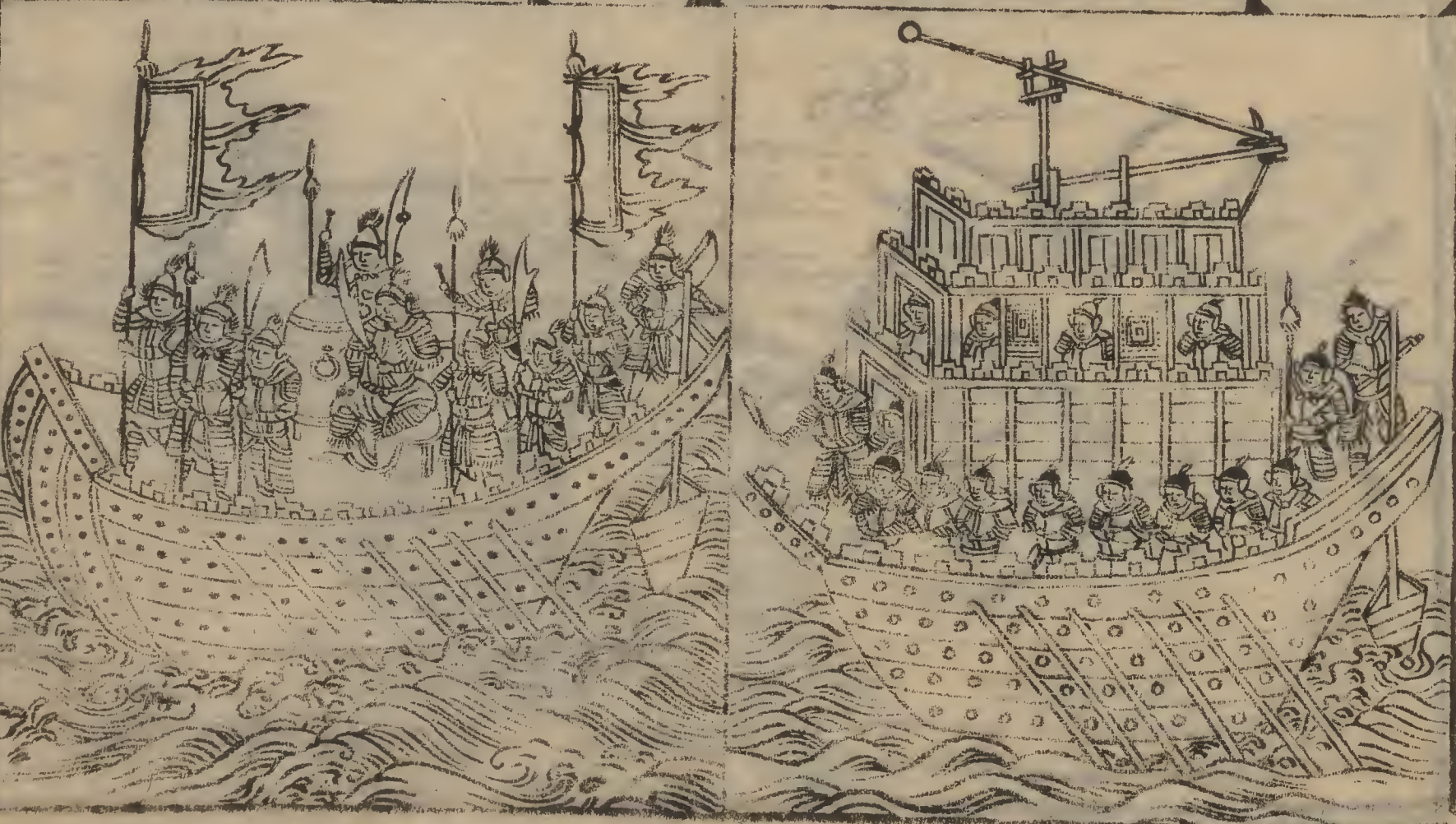
軍船



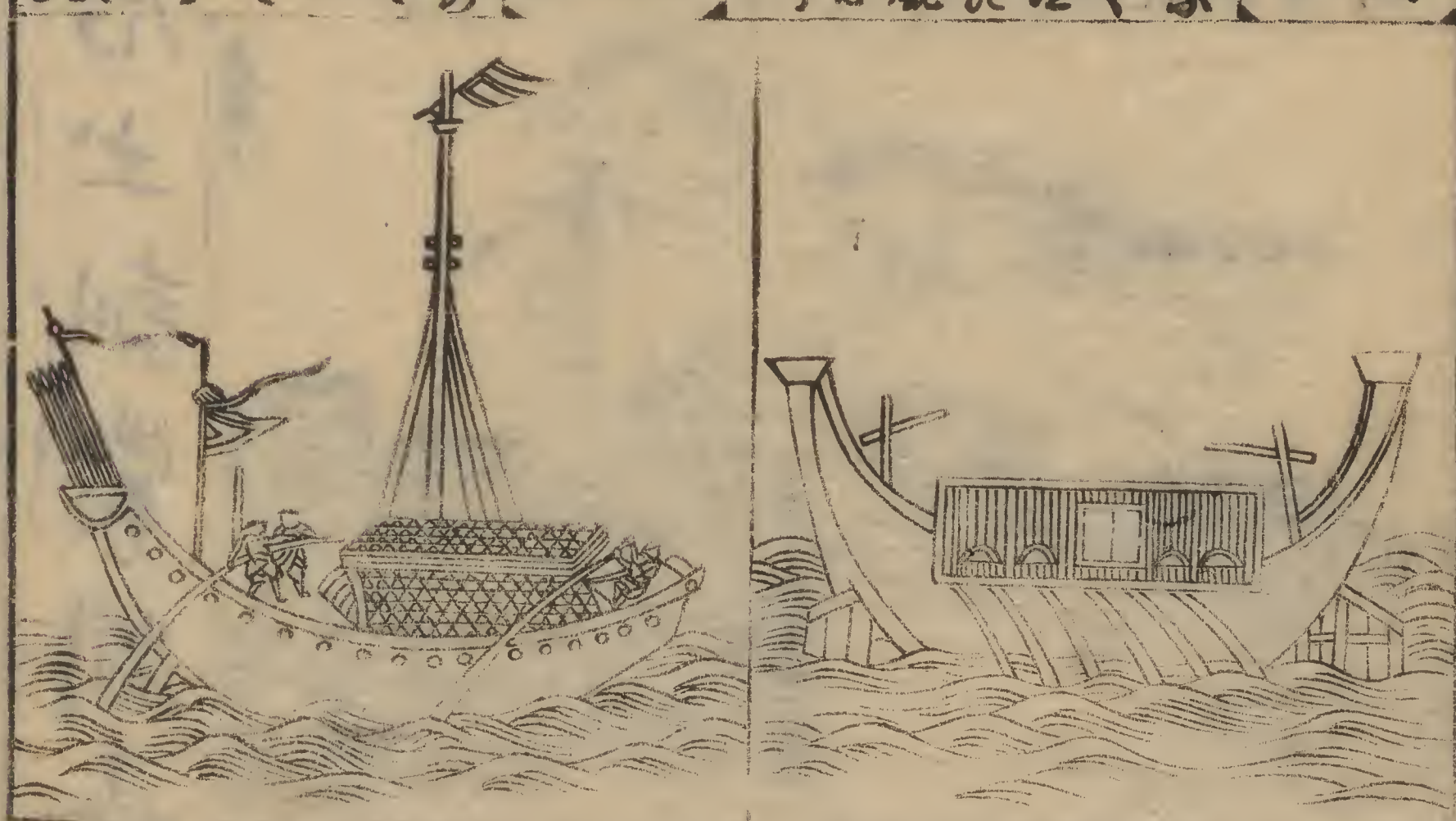
艇遊 舟の 上 繫と なる 疾く 毎に 蒙 衝 生牛 の草 と以て 矢石も ばつ



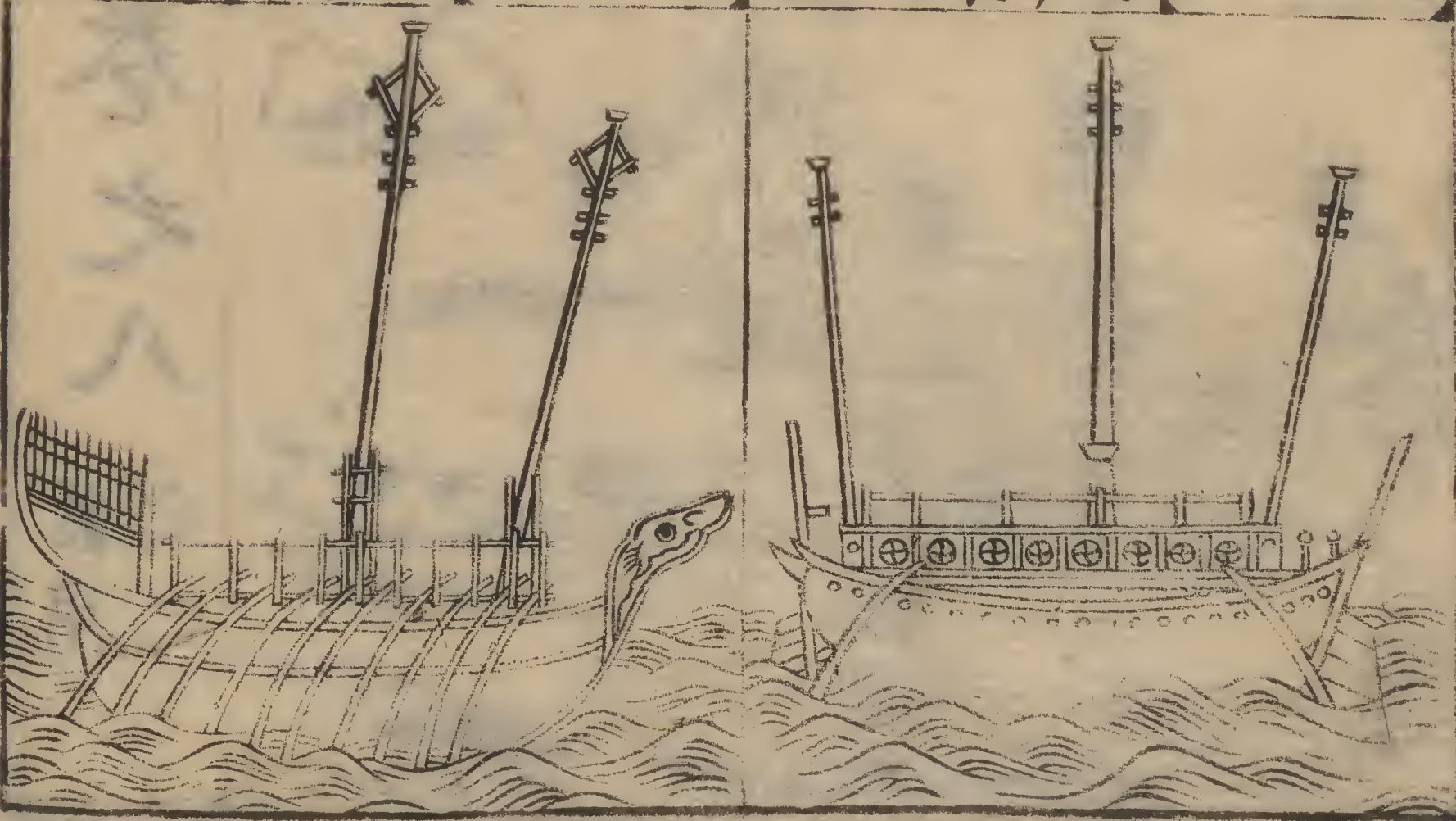
舟楫ふね上うへ
樓ろうと
と三
重房かさふさ
窓まどと
ひらく
舸か走はしり
棹夫さうぶ
と多々
近きん飛とび
勇力ゆうりき
の幾人
幸と
月とし



船ふね 鵞ぎ 船ふね 漁り 船ふね 中なかつ 至いた 用もち 敵てき 船ふね 鵞ぎ 船ふね 漁り 船ふね 中なかつ 至いた 用もち 敵てき



船頭兩 ふたうし
海運 かいゆん
凡そ およそ
用を もち
もの もの
船 ふね



卷之三



五



卷之三



二



大輅圖



大輅圖

薄龍

車乃

兼輅

輅飾

輅圖

車のお

の曲木

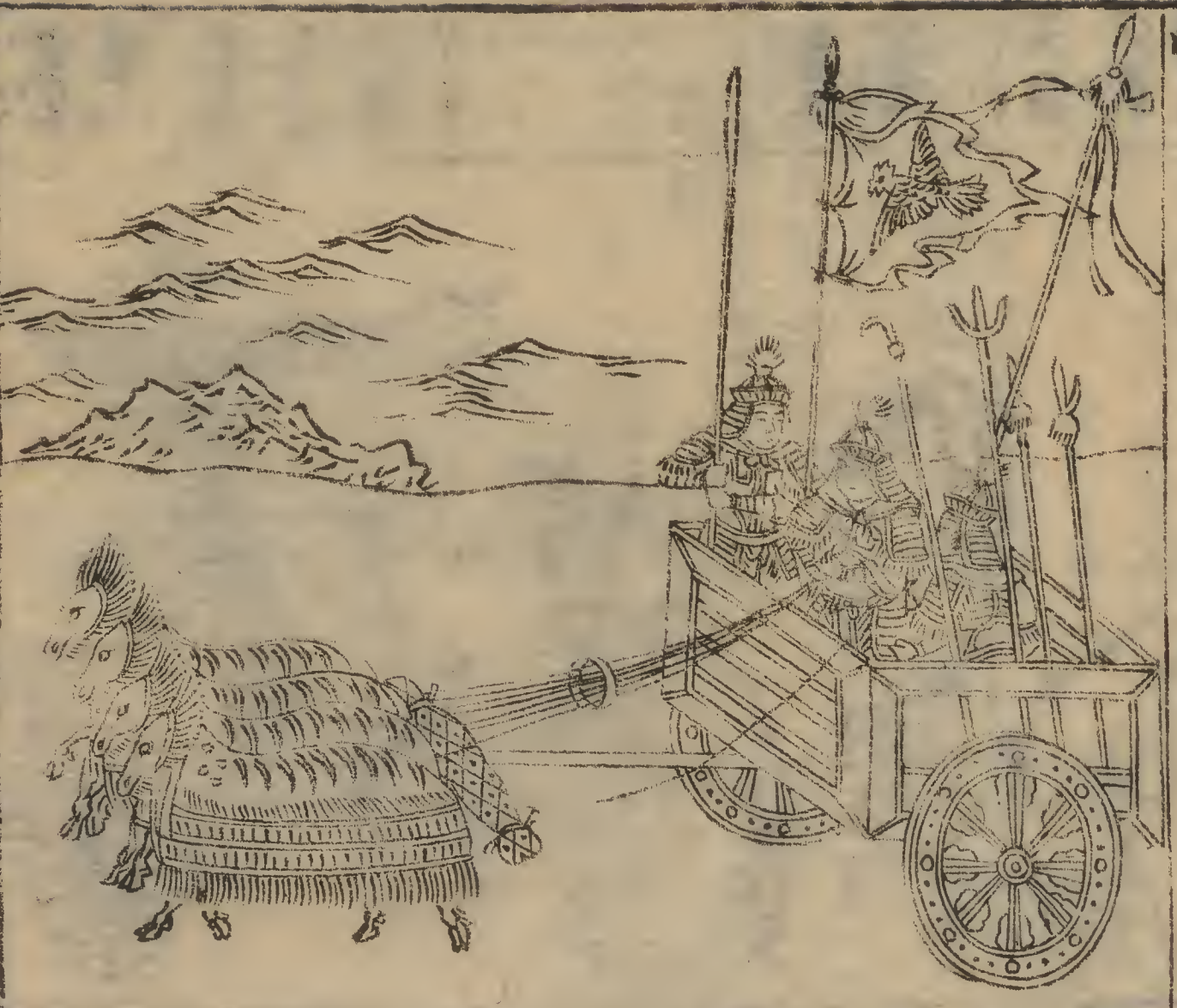
句衡と



周元戎圖

元戎十乘といひて先行之
軍の前鋒也甲士三人同く載左より
右より中より飾一矢戟矛と載くさむこ
識は鳥隼の章とをくこ

表小戎圖



墨車

大夫の
乃る
れ者
かり

重翟

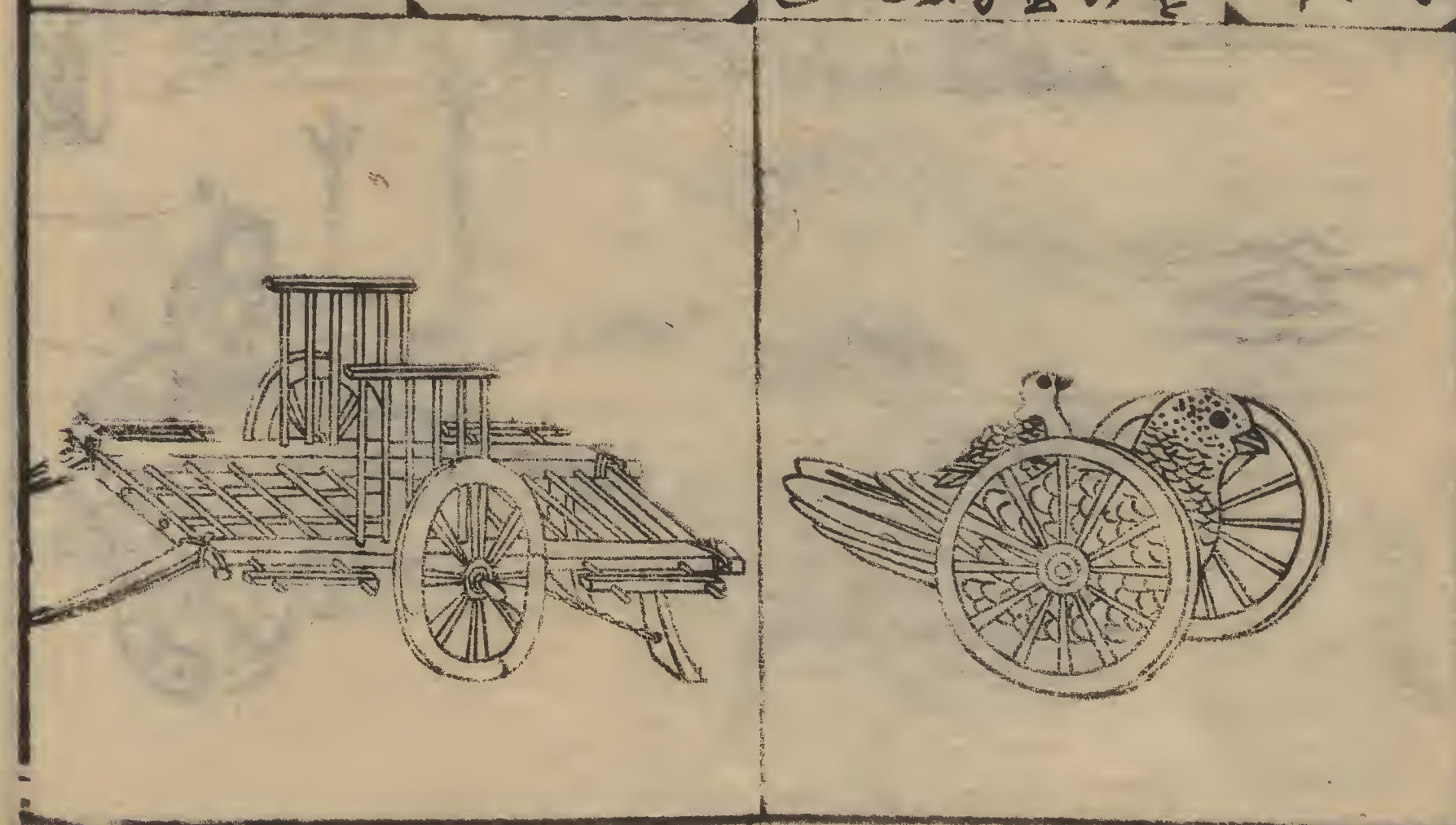
王后
の輜
ろり



鳴鶴車

鳴鶴の
車輪の
間を
背より
と見
るに
鶴の
形を
みゆ

大車圖

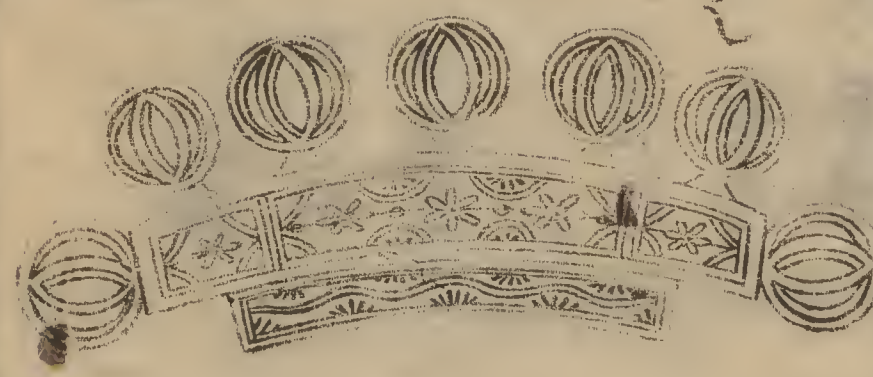


指南車圖

高一尺四寸二分下長七寸四分轄木口圓徑三寸七分轄目と木口とを口圓徑三寸四分とと縁人形とつくり常は南と北の底圓を敷と通し旋轉とるに軸を尤う上とふに今注曰指南車黃帝作と

旂鈴

馬のつくりし

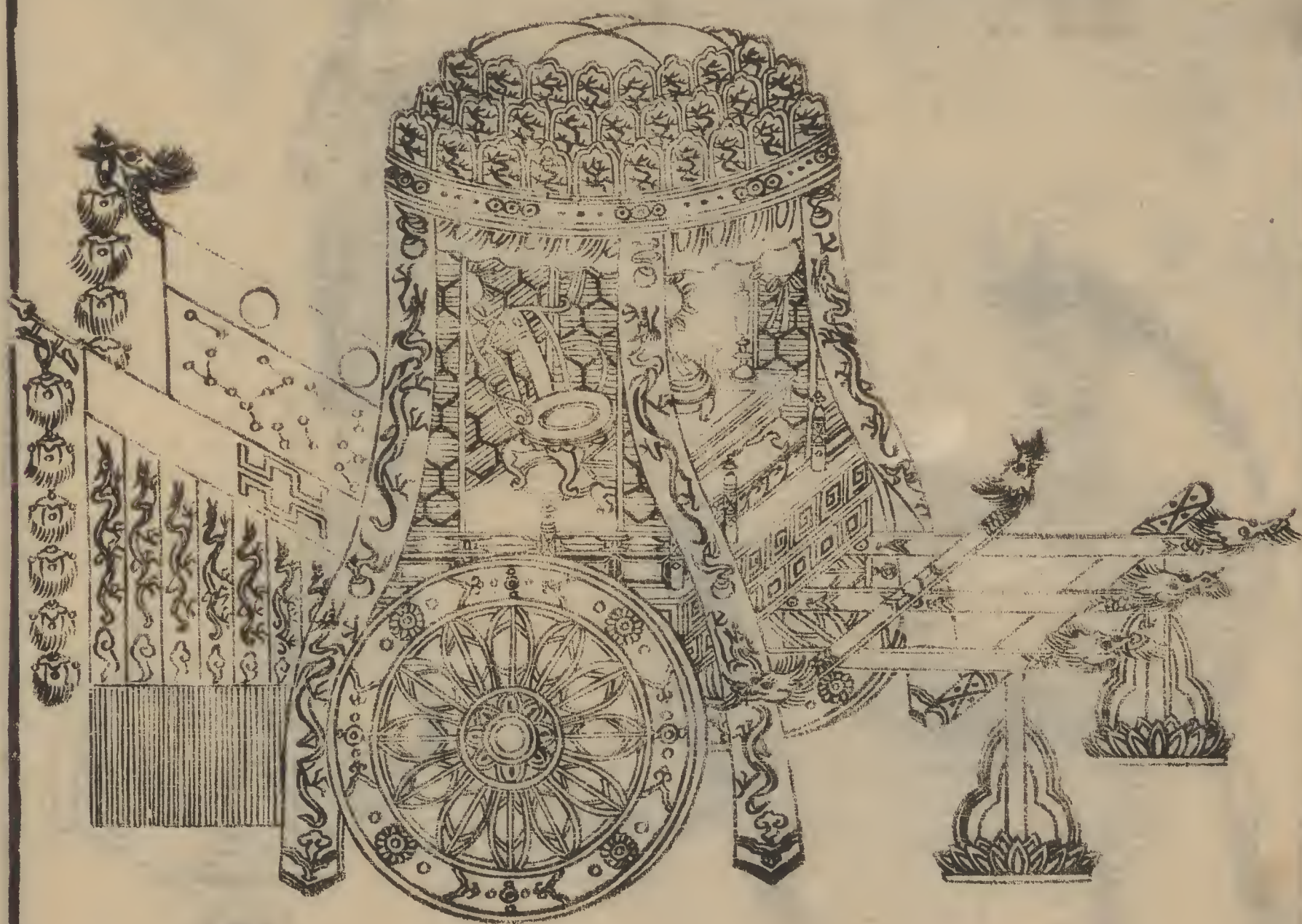


馬の上諸器圖



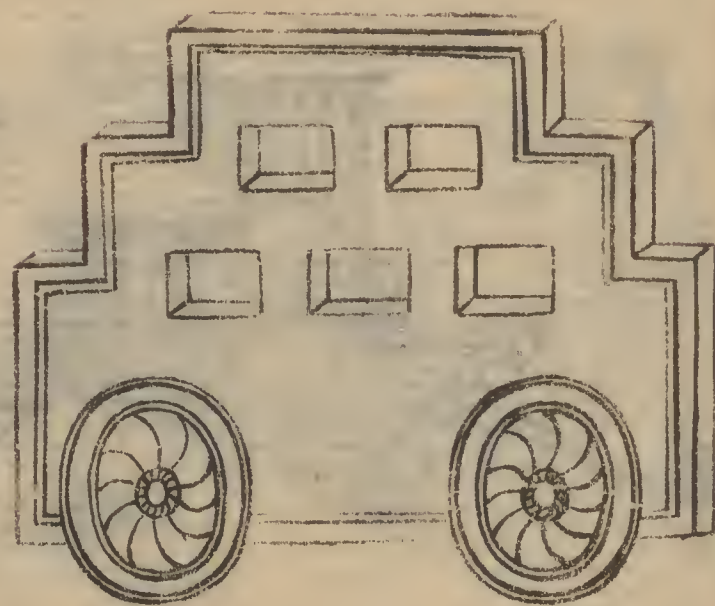
玉輅

輅に五のり金輅
象輅草輅木輅
と合せて五輅也
そのひしつとこに
あけて介と客に
五輅とて形を
同じく彩色
のあやうなり計
かり



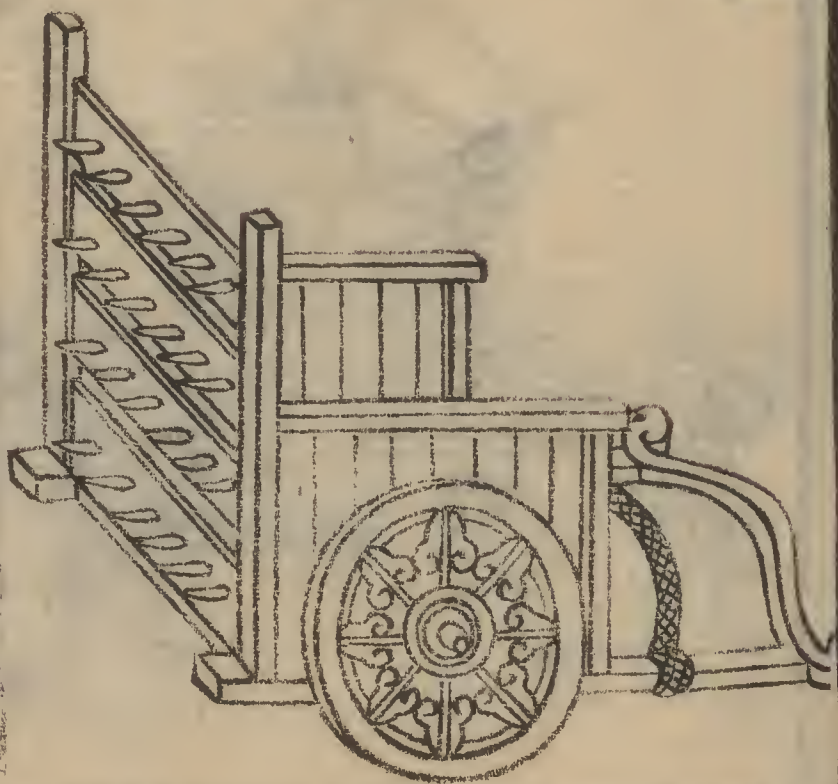
木女頭

形制す
牆の如く
板と以て
つる高六
尺濶五尺
下兩輪と
施軸と
拐木二條と
施に城攻り用こし



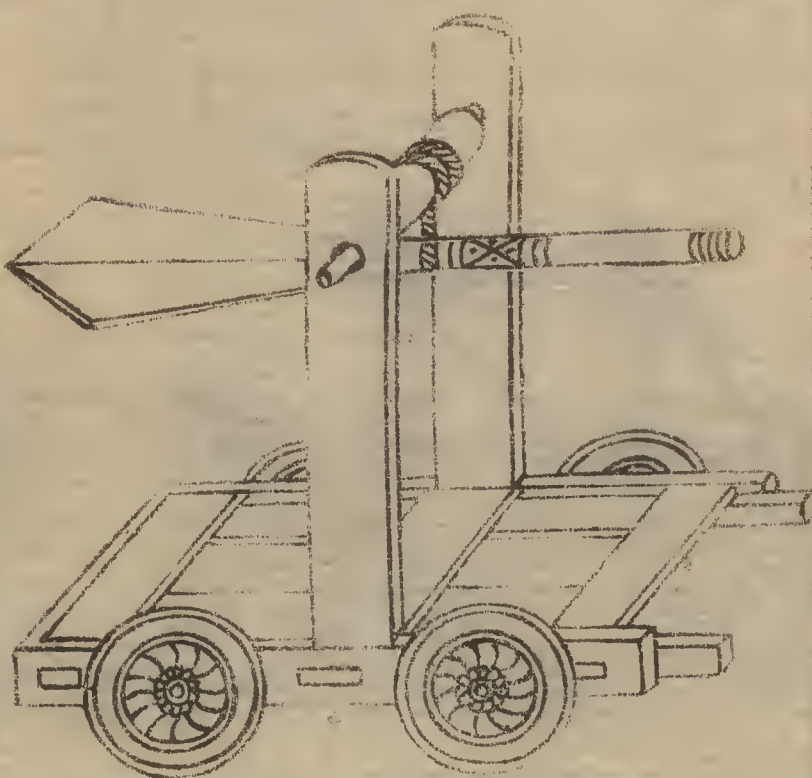
刀車

城門と
せやふ
つる
付と
よて塞
かり



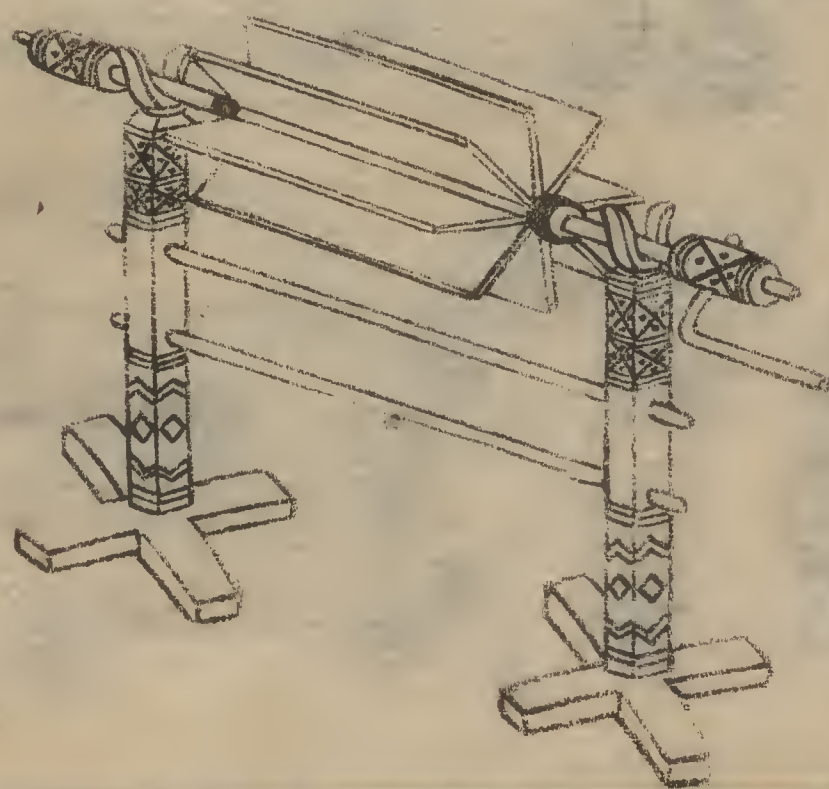
撞車

制衣の
撞のや
城とく
者なり



風扇車

比たの
よて敵に
あひ石と
飛火
球といふ
器なり



拖車

高二人

農具

雨二り

雨二り

雨二り

雨二り

雨二り

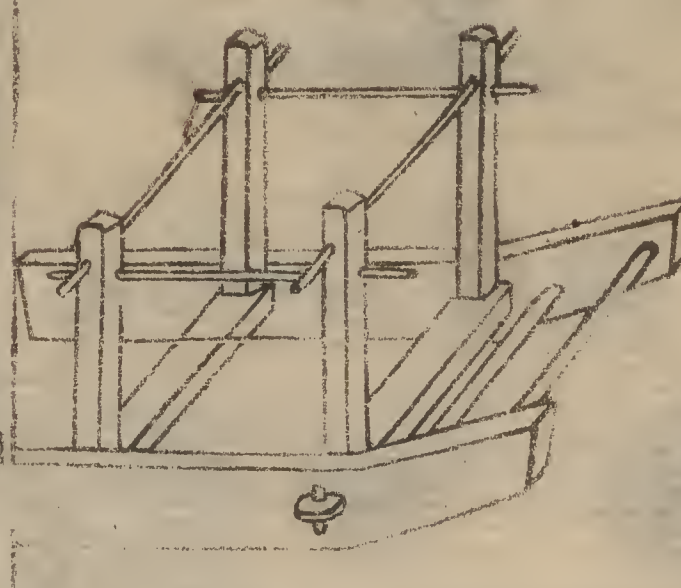
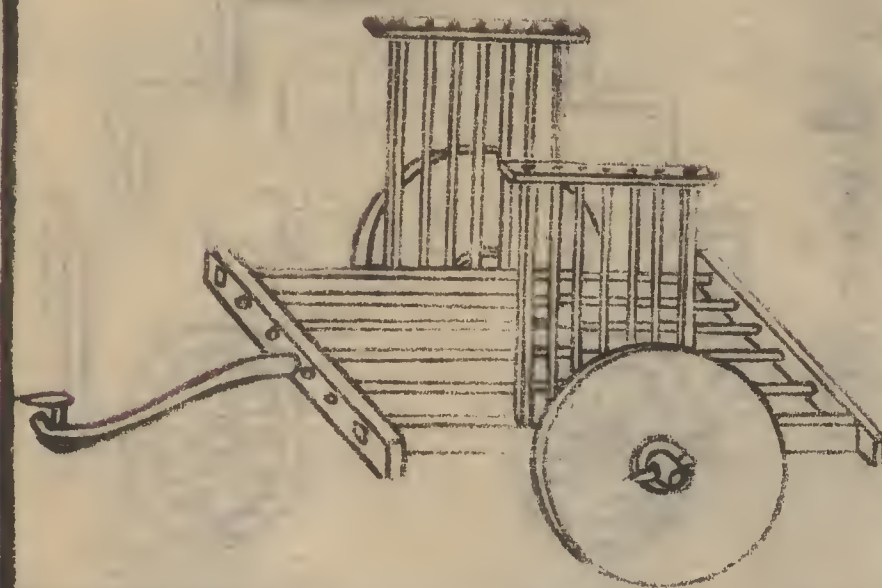
雨二り

雨二り

雨二り

雨二り

雨二り



安車制



大轎

文職

三品以

上の衆

所



籠輿



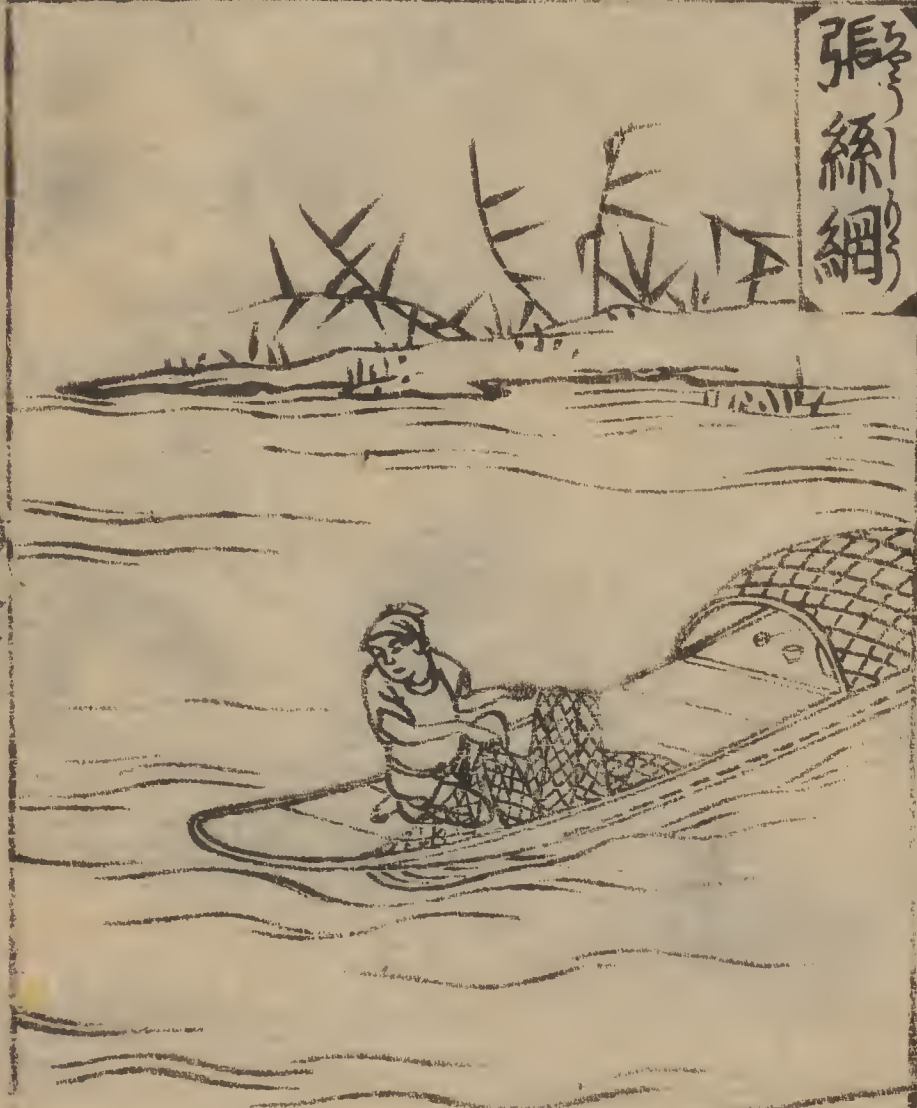
肩輿



注網



張絲網



綽網



船網



抄網



坐簰



釣魚



釣魚



捕鹿



推鹿

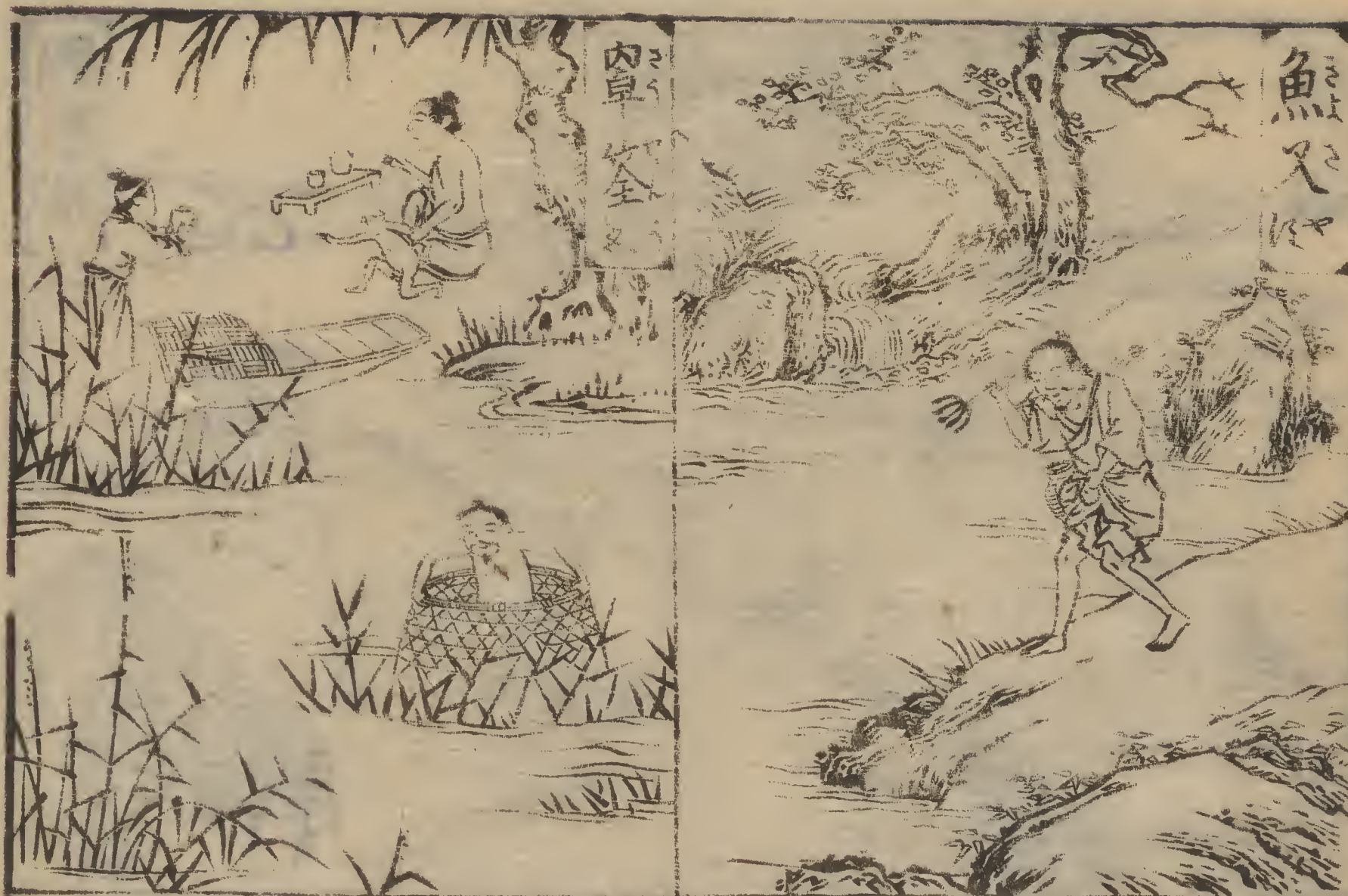


兵器



A black and white line drawing of a traditional Chinese ceremonial gate (Pailou). The gate consists of five vertical pillars. The central pillar is the tallest and features a rectangular panel with five horizontal compartments, each containing a different animal: a dragon, a tiger, a lion, a deer, and a dragon. The four side pillars are shorter and are decorated with tassels (tassels) hanging from the top. The entire structure is topped with a decorative roofline featuring a dragon-like figure. The drawing is in a traditional Chinese style, with clear lines and no shading.

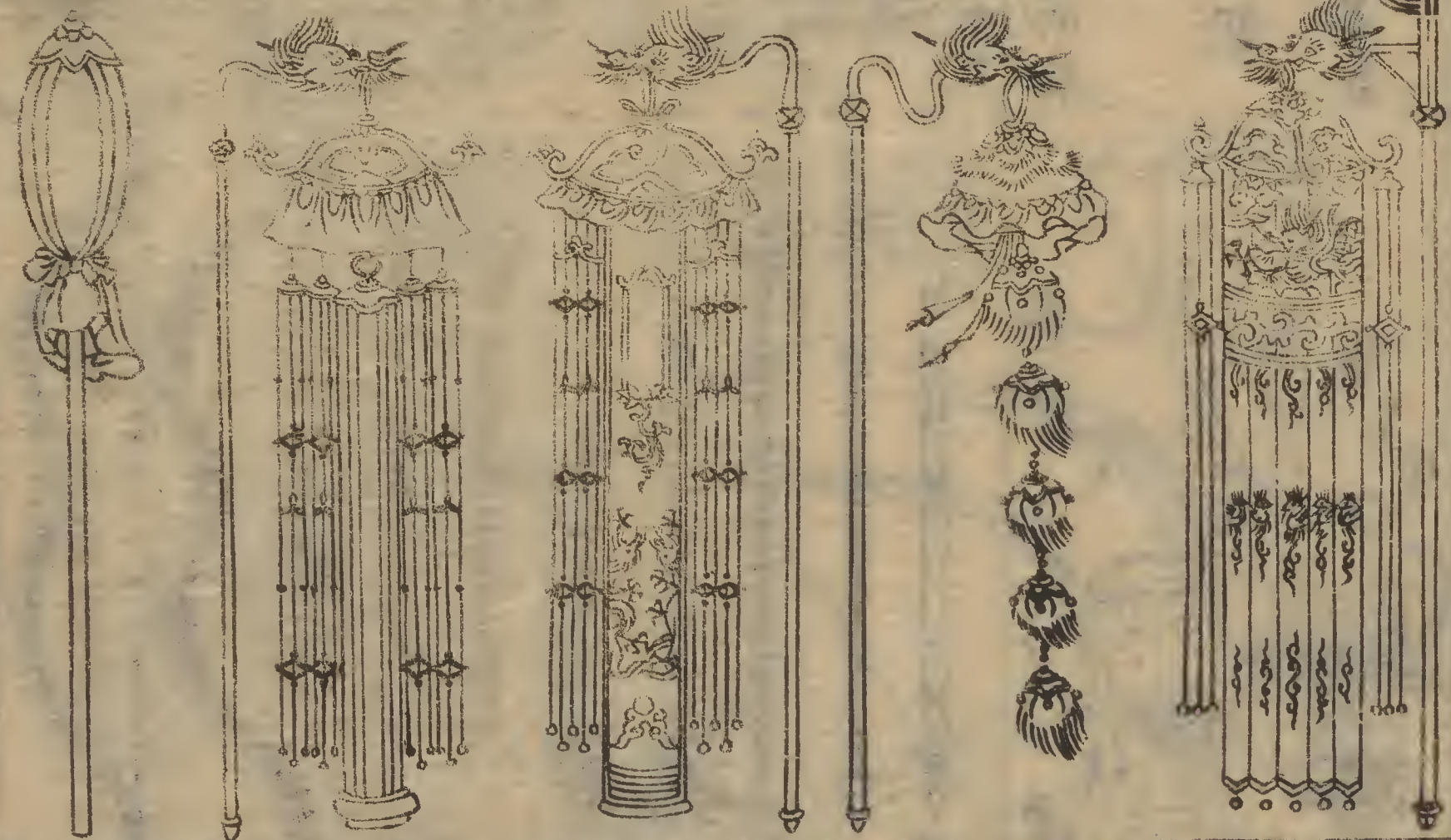
肉阜
全



打竿第



第響 幡引絳 麾黃 幢 幣繡



羽葆黃 瓦臥瓦 羽 金 棒鑲 杖鑲 朵骨 箭金



圖旂 圖旃 圖旒 圖旗



圖旗 壽縣



圖常 大



黒漆弓

麻背弓

銅骨弓

鐵骨弓

木模頭

火銃

鳥龍鐵槍

鳴鈴飛虎

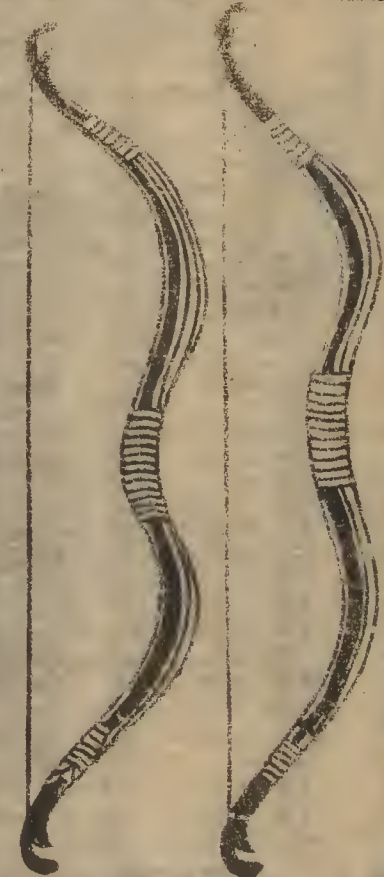
弓箭筒

蘆箭筒

引穀

弩箭筒

蘆箭筒



虎韋



魚腹

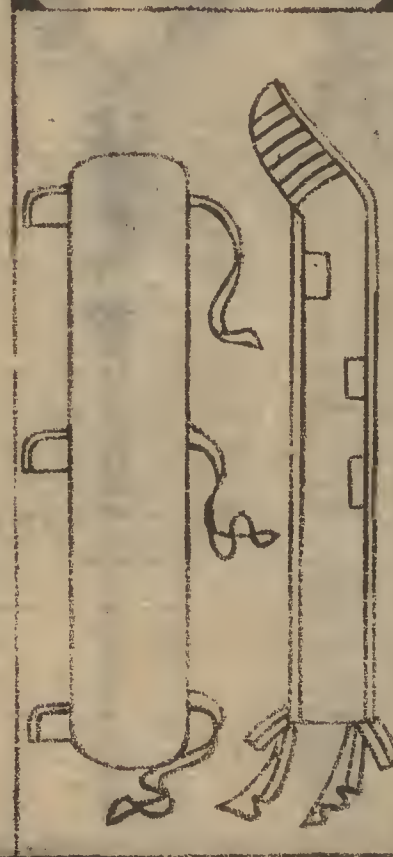


决

ゆき

拾

しり

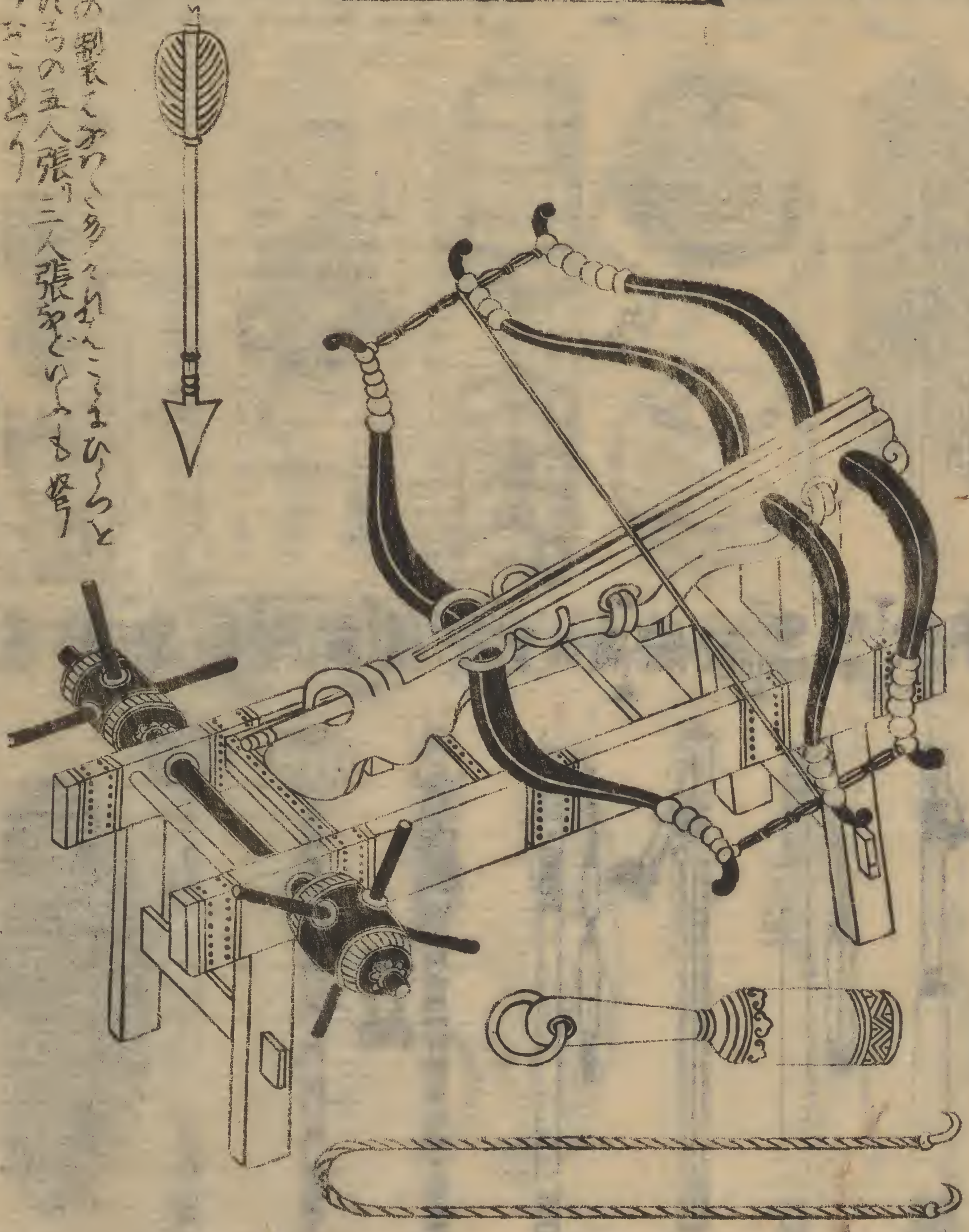


唐三言詩區三卷六



弩 弓 箭 筒

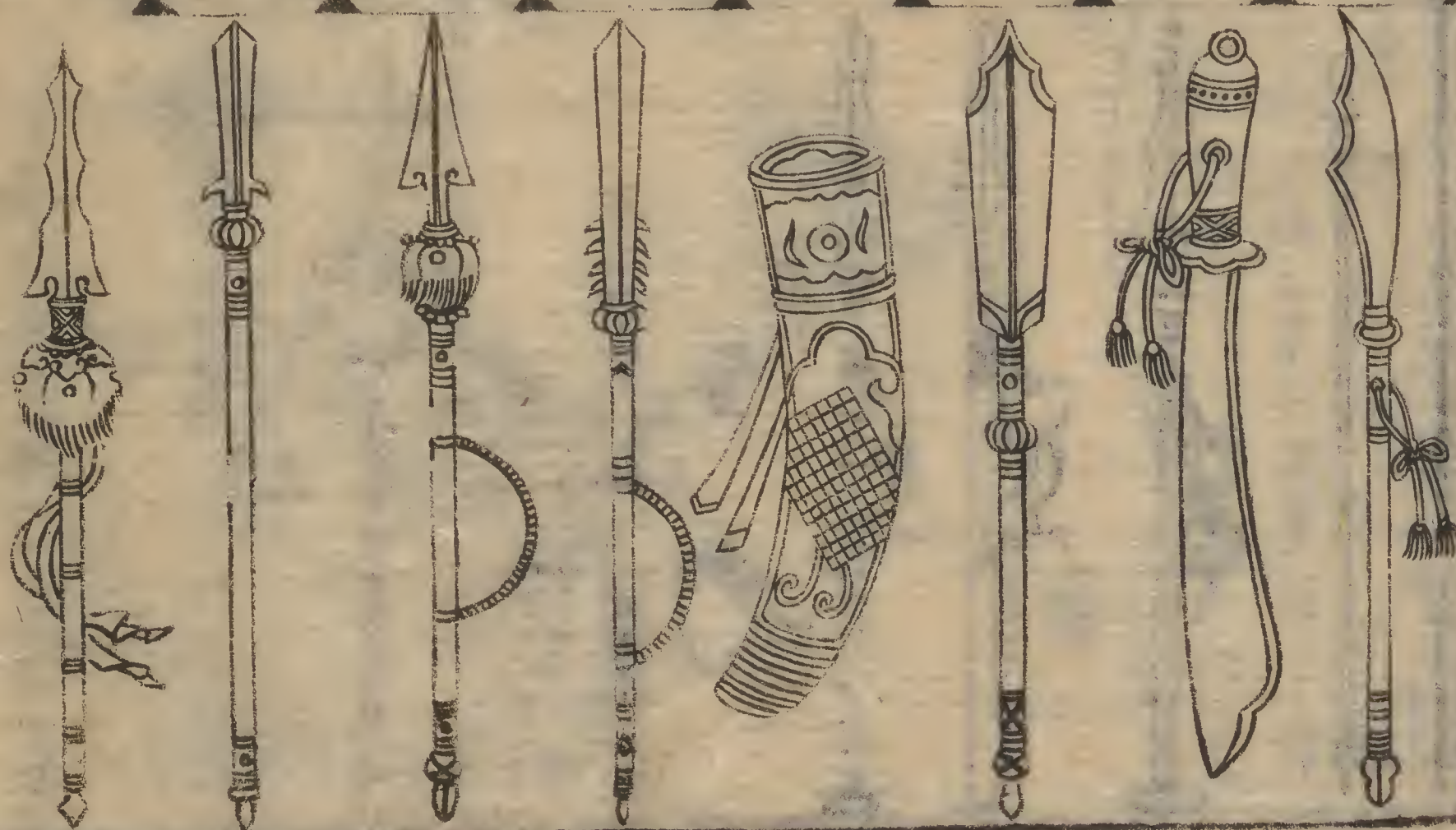
弩の羽根をかくく多々れんこまひらんと
載はるの五人張り二人張りといふも弩
よりおこるなり



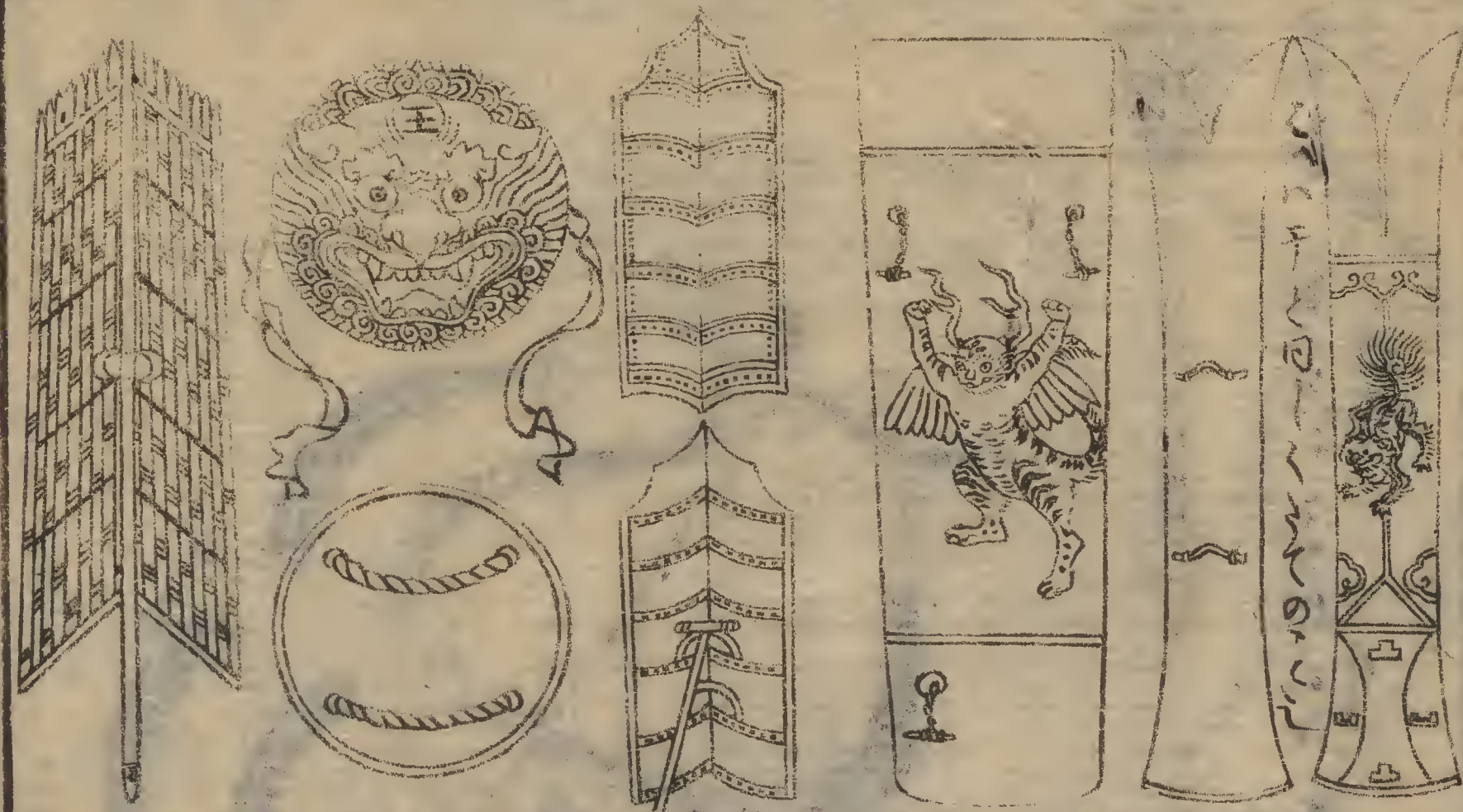
釘 棒 提 杆 白 杓 子 根 牙 棒 馬 槍 突 釘



筆 刀 手 刀 掉 韃 切 雙 鎗 單 鎗 環 鎗 素 鎗



燕 尾 牌 式 換 牌 旁 牌 騎 兵 牌 竹 牌



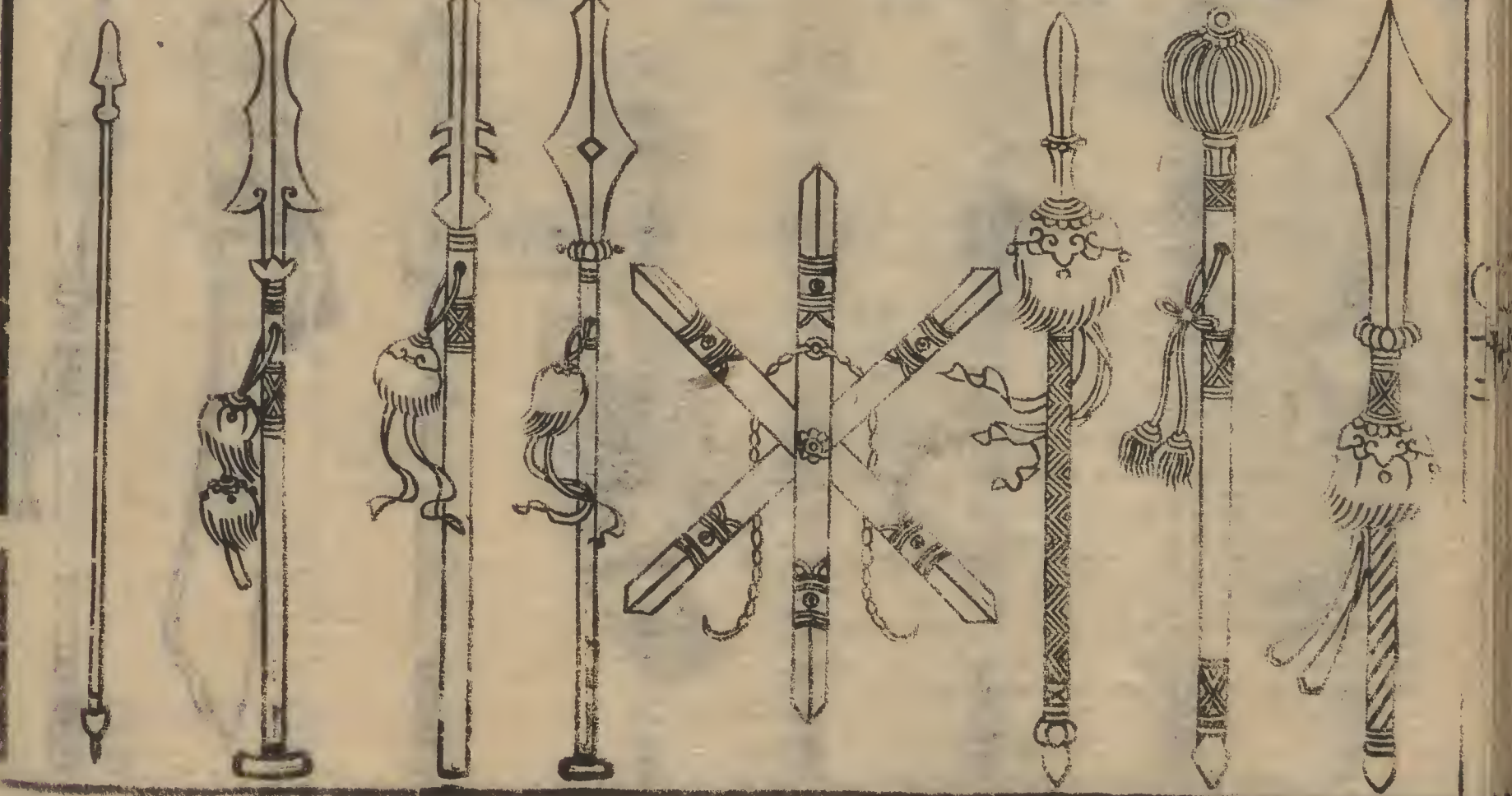
藤 牌 疾 藥 蒜 頭 鐵 雙 鐵 護 鐵 簡 鐵 夾 釘 棒



大斧 屈刀 偃月 刀 戟 刀 骨 刀 鳳嘴 刀 鷹頭 鎗 鐵



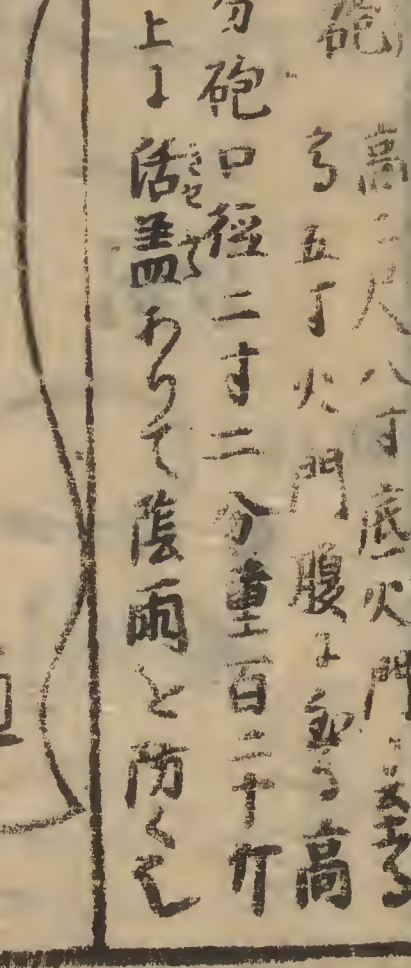
後鎗 鐵鎗 大寧 筆鎗 拒馬 木鎗 拐突 鎗 拐 鎗 標 鎗



野鎗 刺花 砲車



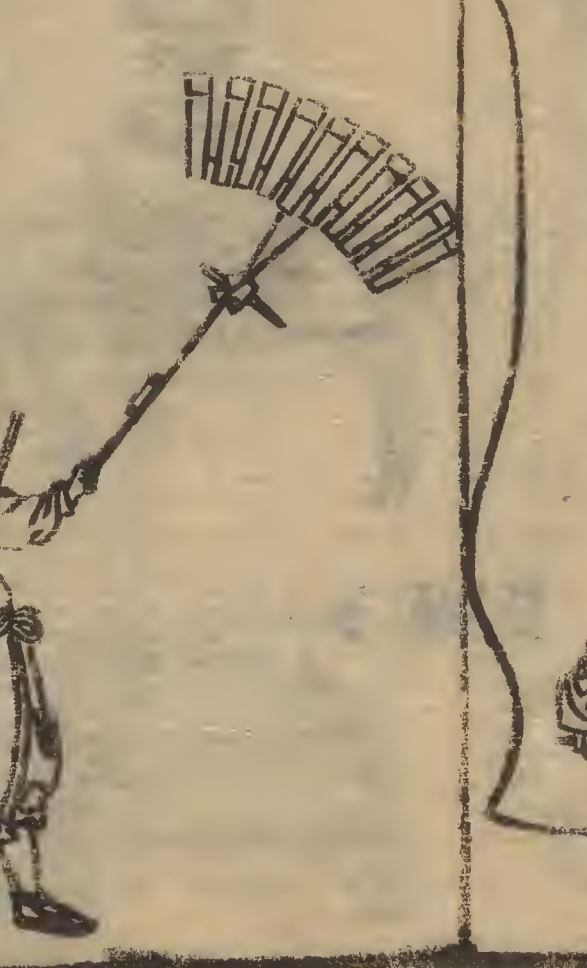
威遠砲 三寸二分砲口徑二寸二分重百二十斤



石と成 介の敵 高下と 石と成 其制 教敵 万全 二と



砲連雷地



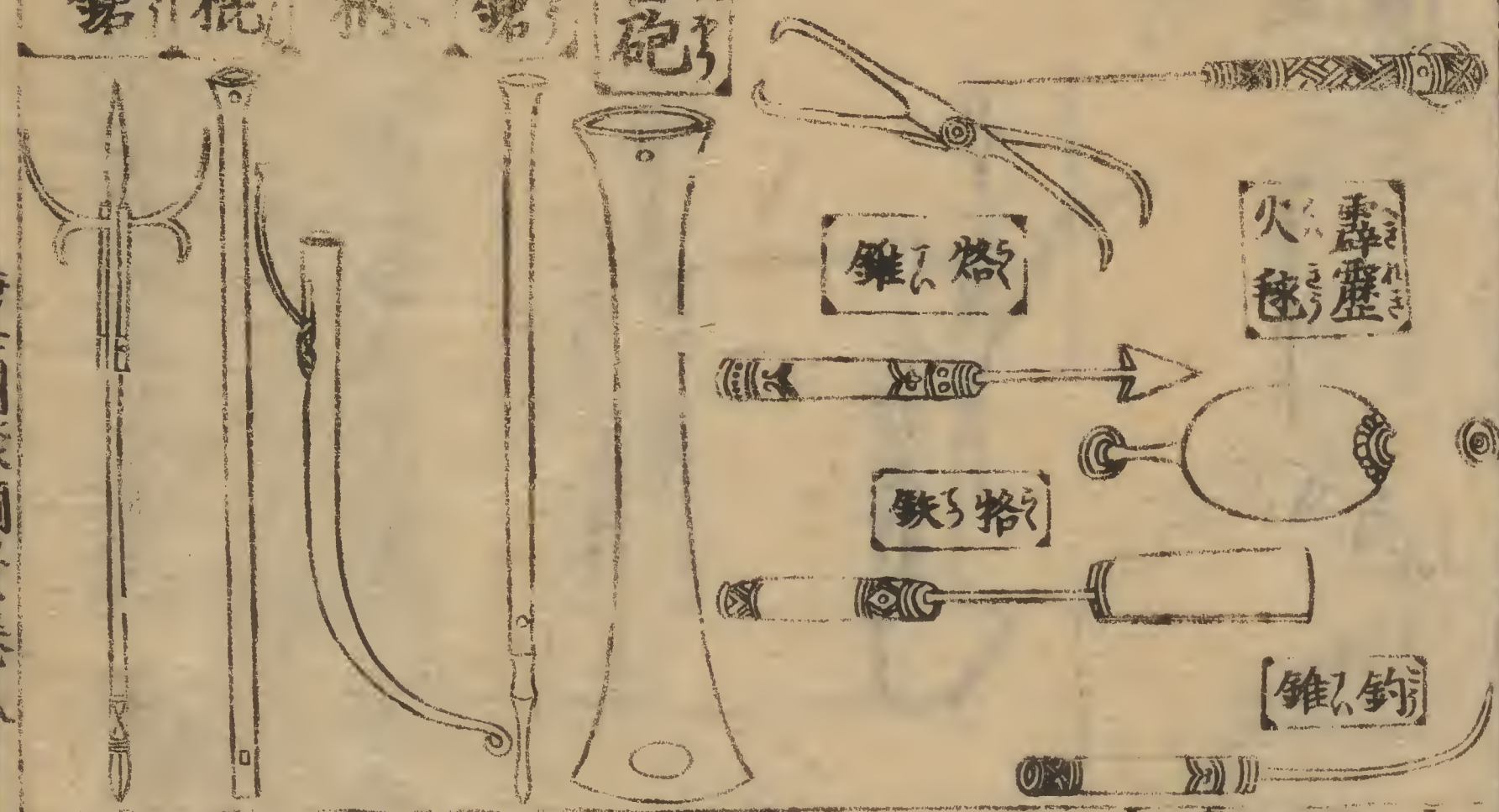
飛炮 城上付 七せり 老とや 万全



飛炮 城上付 七せり 老とや 万全



火銃 鎗 鐵 銅 還雷砲 鐵鈴火 錐通



錐火

錐火

鐵鈴

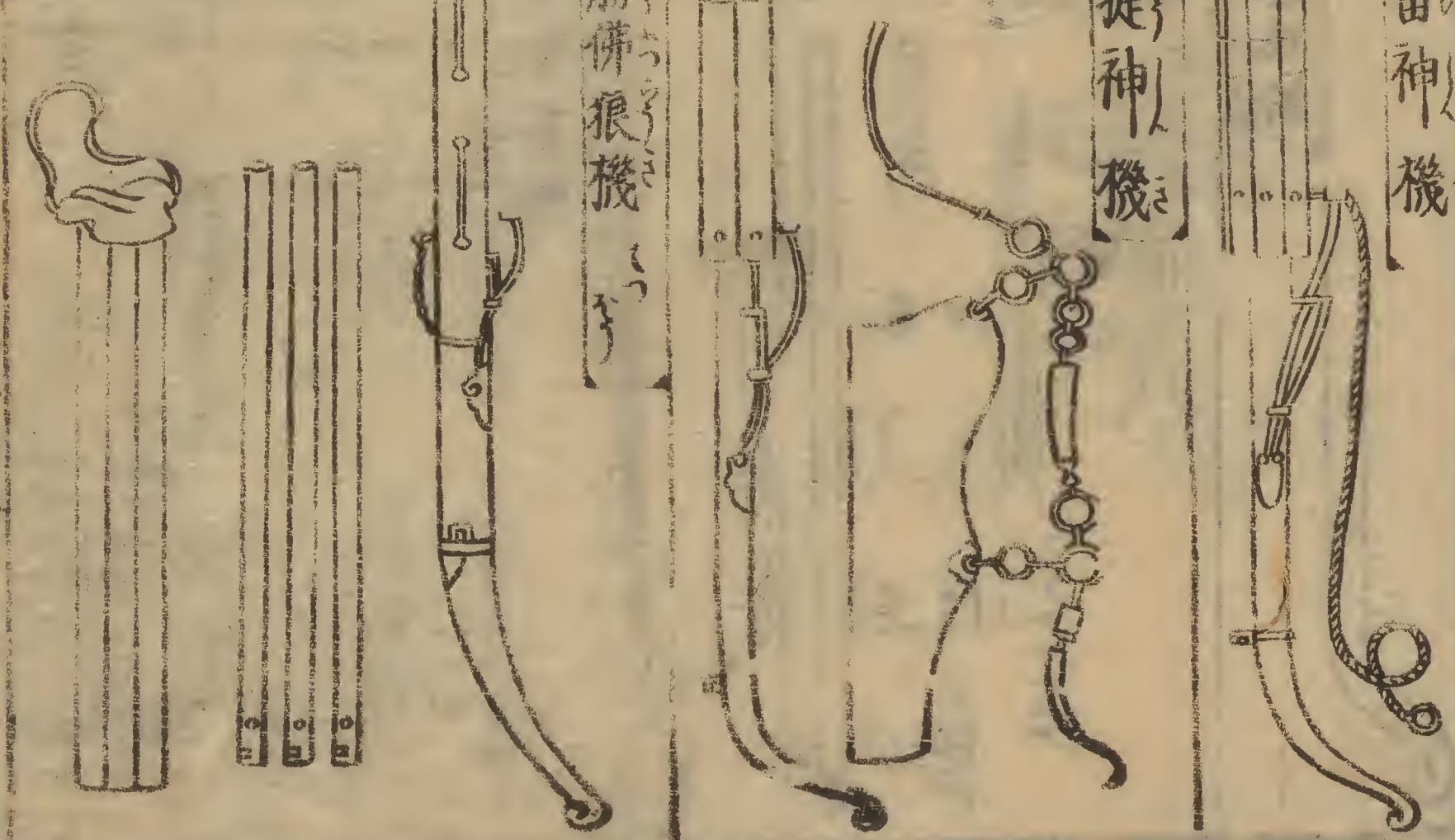
錐火

袋波 砲子

萬勝佛狼機

三捷神機

五雷神機



錫火竹 鐵嘴火 球火 箱火 未火



球火



碗在

鐘火

棒火



杓

羅沙

筒橫

杖練撈

風車 足馬 鐮

地湧神鎗

鑽架 引

大追風鈴

上軌 下軌 底筒

彈模

藥瓶 藥囊

嚙蜜鳥銃

轉輪

前口

火門

